大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　五月二十八日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓（郵稅一ヶ月拾五錢）
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用（3）三二〇五　營業局專用（3）三二〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

滿洲國皇帝陛下　淨月潭水源地御巡狩
初夏の風光を賞でさせらる

新綠萠え出で風薰る初夏滿洲國皇帝陛下には淨月潭貯水池へ行幸を仰せ出だされ、二十八日午前十時略式自動車鹵簿にて工藤侍衛處長以下各侍從を從へさせられ皇宮御出門、興運路より長通路、六馬路、朝日通、大經路を

經て

吉林大路に出でさせられ更に伊通國道、淨月潭貯水池道路を經てその間沿道に堵列奉迎の民衆に親しく御會釋を賜はりつゝ午前十時四十五分淨月潭水源地事務所正門に御着、鄭國都建設局長、近藤技術處長兼總務處長、重住水道科長、藤森庶務科長、草地土地科長、伊地知土木科長その他諸員奉迎裡に御徒步にて御休憩所に入らせられ、御休憩の後畏くも鄭國都建設局長、近藤技術處長、重住水道科長に單獨拜謁を賜はり、藤森庶務科長、草地土地科長、伊地知土木科長に列立拜謁を賜はる、午前十時五十六分鄭局長より上水道建設經過を約五分間に亘り御說明申上げ、續いて重住水道科長は一般水道建設狀況、近藤技術處長は地質、古跡及一般狀況の專門につき各々二十分間御通譯附にて御進講申上げ終つて、資料を天覽に供し奉り種々御下問あり鄭局長以下各擔當者御奉答申上ぐ、午前十一時五十一分鄭局長御先導にて御休憩所よりベランダに御成附近風光御展望あらせられると

同時

に種々資料天覽あらせらる、午前十一時五十六分御徒步にて取水塔に御成、御視察後、望闕乘船棧橋より御召艇にて貯水池御遊覽のため御發航、侍從武官、侍衛處長、宮內府大臣、鄭局長　行在主務官、吉岡中佐、警衛處長、大木憲兵隊長以下御陪乘申上ぐ、午後零時二十五分自動車にて先着の諸員奉迎裡に龍ヶ崎棧橋御着船、御上陸、御徒步にて龍ヶ崎御展望所に御成、附近風光御展望あらせられたる後、零時四十八分同所特設天幕張幄舍にて御中餐を召さる、一時十八分御徒步にて東北方高台附近を御散策、種々御下問あり、御進講者より奉答申上ぐ、かくして一時五十八分御腰站堡東側御乘車場に向はせられ御展望所御發、御徒步にて腰站堡南方及西側通路より堰堤上通路を經て貯水池專用道路に出でさせられ、往路の御道順にて午後三時御機嫌いと麗しく皇居に御歸還あらせられた

關稅率改正法案　特別議會に再提出
輸出統制稅案も提出されん

【東京國通】大藏省では廿七日關稅調査委員會幹事會を開催、特別議會に提出すべき關稅改正關係法案に關する關係各省幹事會の初協議を行ひ、前議會解散の結果不成立となつた關稅定率法中改正法律案を中心に關稅率改正に關し、意見の交換を行つたが、不成立案の主要內容をなす硬油及び自動車、同部分品については代用燃料助成及び國內生產獎勵を可及的速かに實施する必要があるので、兩品目の關稅引上げはこれを行ふことゝし、その他不成立案に含まれてゐる沃度、パルプ原木等の關稅についても同樣改訂を行ひたい意向を有してをり、前議會不成立案をそのまゝ特別議會に再提出する方針に意見の一致をみた模樣である、また新たに關稅改訂を要する品目については今時研究を進めることゝなつた、なほ改正法と同樣流產となつた輸出統制稅案に對しても大藏、商工兩省では納付金制として提出する意向である

東商物價對策　第一回委員會

【東京國通】現下の物價問題に對し東京商工會議所では政府の物價對策委員會に呼應して這般の役員會において東商獨自の立場から物價對策の樹立に乘出すべく、現在の議員中より委員長に中川正左氏、委員に德田昂平氏ほか十五名を選出、二十七日第一回委員會を開催、木村理事より政府主催物價問題協議會の內容を報告協議の結果さし當り材料を整備の上物價の多角的檢討を行ふことになつた、よつて全產業界各方面の代表的人物よりそれぞれの業界事業につき說明乃至意見を聽取すべく六月三日銀行信託證券界各權威者を招待、座談會を開催することになつた、因に先般の物價問題座談會に關する木村理事の報告要旨は次の通り

最近における物價昂騰に關しては大體において國內的原因に重點を置く意見と世界的原因に重點を置く意見とあるが、當面の國內的原因に對しては生產力の擴充に邁進するか又は財政の膨脹を抑制する以外にあるまいとする主張を抱いてゐる

漁船被害事件　支那側に辯解の餘地なし
我方嚴重に抗議

【東京國通】廿三日塘沽沖における日本人漁船被害事件に關し、廿七日外務省に入報あつたが、右によれば廿三日午後二時頃日本漁船第一長州丸（四三噸）第七島戸丸（四九噸）の二隻が塘沽燈臺の南東十八浬の地點で出漁中支那稅關船は無法にも突如射撃を加へたので、第七島戸丸は逃げのびたが、第一長州丸は遂に廿數發の小銃彈を浴び船長の高橋長十氏は左腕に重傷を負ふに至つたので停船したところ、支那官憲は船內に躍り込み不法臨檢を行つて立去つた、同船は二十四日午後四時大連に無事入港したが船長は同地の病院で加療中である、堀田天津總領事は支那側の無法行爲を糾彈すべく天津稅關長に事實を照會したところ稅關長は未だ何も聞及んでゐないが、芝罘稅關の監視船ならんとの回答に接したので、帝國政府は汕頭事件と軌を同じうする支那側の暴行であり、しかも公海において平和的漁撈中の漁船に對し無警告にかゝる所爲に出でたことについては、支那側に何等辯解の餘地なしとして、將來この種事件の再發を防止するため、在芝罘領事代理をして支那側に嚴重抗議せしめることゝなつた

日英交涉によつて英支條約變更されず
＝クランボーン英外務次官言明＝

【ロンドン廿六日發國通】吉田大使は英帝國會議の終了をまつて愈よ英國外務省との間に極東ニューディール案につき交渉を開始する意向と傳へられるが、英國政府は交渉の推移に多大の關心を示し英國下院においても論議の焦點となるに至つた、廿六日午後の質問時間に際しても支那との關係につき質問が出たところクランボーン外務次官は次の如く言明した

日英兩國間に如何なる交渉が行はれた後でも國民政府が進んで同意せぬ限り右結果に基いて英支兩國間の既存條約に何等かの變更を加へることは絶對にない、且つ現在のところ日英兩國間にかゝる交渉は進捗してゐない

と述べた、又日英兩國間の交渉が如何なる段階迄進んだら支那政府も參加させるかとの質問には默して語らなかつた

牡丹江放送局　六月一日開局
呼出符號MTGY

豫てから待望久しきにあつた牡丹江放送局は愈よ來る六月一日から左記に依つて開局せらるゝ事になつた

名稱　牡丹江放送局
位置　濱江省寧安縣牡丹江太平路一〇
呼出符號　MTGY
使用周波數　一、〇一五キロサイクル
空中線電力　一〇ワット

航聯海晏丸　突如發火沈沒

【哈爾濱國通】昨秋漠河上流において流氷に閉され航行不能となつた航聯所屬海晏丸（八三七噸）は黒河から哈爾濱へ歸路の途廿六日午前六時頃黒龍江黒河下流二千米の地點において突如火災を起し船體燒け沈沒した、乘組員滿人卅名、日本人二名のうち鐵路局自動車科員村上榮藏氏（二五）は行方不明、同岩崎靜男氏（三〇）は負傷、滿人三名溺死、負傷四名を出したが、この外行方不明も相當多數に上る見込で、原因目下取調中

【哈爾濱國通】海晏號の遭難の報に接し航業聯合局では直ちに濟南丸を現地に急行せしめ附近一帶に亘つて行衞不明者を搜索の結果、滿人溺死者三名を發見したが日本人村上外滿人一名は行衞不明であるが、負傷者岩崎外滿人六名を救助し直ちに市立病院に收容して應急手當を加へてゐる、なほ原因は炊事室から出火と判明、損害約十萬圓に達する見込

首都警察管下　警察新築工事　着々進捗

經費約八萬圓を投じ二ケ年繼續事業として孟家橋無電台北方に其竣成を急いでゐた寬城子警察署はいよ〳〵來月中旬をもつて完成こゝに移轉することになつたが一方豫算七萬圓の大經路警察署はその名稱も同治街警察署として特別市同治街の一角をトしてこの程基礎工事に着手、これまた年內には完成の見込みであるが何れも二階建のモダン建築で南關警察署の新築によつて治外法權撤廢と共に首都警察管下五警察署はすつかりその面目を一新することになる

人事往來

着京

▲折下吉延氏（會社員）廿七日來京ヤマトホテル　▲香川熊太郎氏（同）同　▲西野省三郎氏（同）同　▲大住正一氏（同）同　▲廣瀬淸一氏（滿鐵）同　▲關澤紹氏（銀行員）同　▲福渡文吾氏（商）同　▲天羽諄郎氏（會社員）同　▲上崎龍次郎氏（同）同　▲西村喜藏氏（日本ペイント）同　▲小畑源之助氏（會社員）同　▲作井純明氏（官吏）同向陽ホテル　▲吉田勝氏（同）同　▲三井保倍氏（會社員）同　▲新川吹雄氏（航空會社）同　▲慶野勝二氏（吳服商）同　▲瀬戸山之氏（鑛業）同　▲谷村勝三氏（電機商）同　▲富部佐平氏（滿鐵）同　▲竹内壽太郎氏（明電舍）同國都ホテル　▲野村虎雄氏（同）同　▲平野太郎氏（滿洲鹽業）同　▲羽賀三郎氏（大正生命）同　▲平里修二郎氏（同）同　▲櫻田義實氏（會社員）同　▲櫻田正東氏（同）同　▲大山行吉氏（新進コンクリート）同　▲小島文平氏（土木技師）同　▲伊藤輝利氏（官吏）同　▲山地世夫氏（滿蒙殖產）同　▲萩原義秋氏（會社員）同　▲竹内元平氏（承德專賣署長）同　▲興津時馬氏（鑛業）同　▲大谷津壽雄氏（三井鑛山）同　▲愛甲一氏（滿鐵）同　▲佐伯仙之助氏同　▲石丸素一氏（大興公司）同滿蒙旅館　▲井上定弘氏（錦鐵）同　▲山口銀三氏（官吏）同新京ホテル　▲田中一男氏（機械商）同　▲和田相太郎氏（遞局）同　▲山田義磨氏（辯護士）同蓬萊ホテル　▲大木幹一氏（同）同　▲宮副義智氏（三和ゴム）同　▲安達三十四氏（鋼鐵商）同富士屋　▲宮原小次郎氏（著述業）同　▲池田秀藏氏（官吏）同　▲樋口光雄氏（同）同　▲庄代名兵衛氏（會社員）同　▲和田壽夫氏（大東精神科學研究所主事）同國際ホテル　▲尹泰東氏（間島省學務科長）同　▲吉田秀雄氏（吉林觀光協會）同

出發

▲櫻澤千藏氏　二十七日發奉天へ　▲神尾弌春氏　同　▲宮下靜一郎氏　同　▲藤田晋郎氏　同　▲河路守正氏　同　▲千種峰藏氏　同大連へ　▲奥田千之氏　同　▲谷川善次郎氏　同　▲河内由藏氏　同ハルビンへ　▲部井利英氏　同　▲中江要藏氏　同　▲小林良然氏　同　▲相馬正男氏　同東京へ　▲櫻井文雄氏　同　▲前田勇吉氏　同黒河へ　▲窪田圓平氏　同牡丹江へ　▲宮崎常夫氏　同奉天へ　▲近藤信宜氏　同大連へ　▲中川文造氏　同奉天へ　▲田中正司氏　同　▲松永誠介氏　同　▲河村泰男氏　同　▲益田岩雄氏　同　▲佐藤勝三郎氏　同ハルビンへ　▲河内志郎氏　同　▲吉永順孝氏　同　▲鷹松龍種氏　同　▲田川宇一郎氏　同釜山へ　▲河崎泉氏　同大連へ　▲秋山健二氏　同　▲井上猛氏　同　▲野間口正人氏　同　▲藤井鄉川氏　同　▲齋藤武藏氏　同　▲田村忠一氏　同奉天へ　▲有馬勝氏　同　▲阿部正孝氏　同　▲天野長次郎氏　同　▲柴山正男氏　同　▲細谷源四郎氏　同東京へ　▲加藤長氏　同

その日〳〵

□晴れたり空よ、彈丸飛行機は二つの國都を見事むすぶに至つた

□一葦帶水、むかし國運かけ爭はれた日本海も今は庭の池の如くに

□あつさりと英國の首相は退却、それとこれと比較すべきでもあるまいが

□反省せずば斷の一字、日本では斷乎としてさう言つてゐる辭もある

□この國なほ殉職者絶えず、哀しみつゝ今後にかかる哀しみすくなからんことを祈る

歌はぬ樂譜（上映上演）

山中峯太郎
水門讓二　畫

（百五十六）

破局か和解か（一）

苦い灰汁を、胸いつぱいに呑まされたやうな氣持ちて、村上校長は、家へ歸つて來た。

『ま、どうなさいました？』

良人の青ざめてる顏色に、あき子夫人も、ふるへ聲で訊ねた。

『石田が、どうかしたのですか』

『……』

だまつて、自分の書齋へ、村上校長は入ると、崩れるやうに座りながら

『おれの責任だ』

沈みきつてる顏色が、あき子夫人を、見つめると

『實にあいつは、容易ならぬ奴だつた。友だちの奥さんと、それに先輩の夫人と、いまはしい關係をもつてたのが、今夜、初めて解つた。おれは、キミ子に濟まん！』

さゝやく聲が、絶望と憤怒にきれて

『……キミ子は、どうしてゐるか』

良人の意外な言葉に、あき子夫人は、口もきけなかつた。

――石田が、そんな男だつたのか？

まるで、あり得ない噓の樣な、けれど、現に良人が、それを確めてきたらしい。それでは

――キミ子は、いつたい、どうなるのだらう？

思つても身ぶるひのする、三角關係といふものに、石田が、前から手を出してゐたとは！

――離緣。

これを村上校長も思つてゐた。

――女は實に損だ。だが

まして自分の娘のキミ子の『離緣』を、目の前に思ふことは、堪へられない氣がするのだつた。

あき子夫人は、涙ぐむと

『自分のお部屋に、キミ子は居ますけれど……』

『まだ、寢てはゐまいな』

『今さきまで、私と話してゐましたから……』

『何を話してた？』

『あれも、氣がしづまつて來ますと、今夜は石田をすてゝおいて、さきに歸つて來たのが、わるかつたやうに、自分で後悔してゐたやうですけれど……』

それは、今となつて見ると、兩親にとつて、いぢらしい限りだつた。

『何を後悔する、石田の奴は食ひ裂いても足りん奴だ』

憎しみに、村上校長の聲がふるへて

『しかし、今夜は、何もキミ子に言ふな、このまゝソッと寢かして明日よく、キミ子の考へも、聞いてみなければならん』

『……』

――キミ子の考へを聞いて、あき子夫人は、ジッと目を俯せた。

さうなることだらう？そんな色魔のやうな石田とは、もう行末、何の見込みもないのではないか。

『たとひキミ子が、考へなほすと言ひましたら、あなたは、石田を許してやるおつもりなんですか』

と、あき子夫人は、思ひせまつて、良人に聞いた。

村上校長は、一瞬押されたやうに默つたが

『お前の考へは、どうなんだ？』

『わたしはもう、そんな石田とは一日も早くキミ子を引取らなければ、と思ひますの』

『さうか……』

石田の家から激昂してきたその昂奮が今、おさまるにつれて、村上校長は、腕をくむと、うなだれた。

『あき子！』

『？』

『これは、餘程、愼重に計らねばならん』

『それはもう、でも、結末はさうしても、キミ子を引取りたいと私、思ひますの』

辛い場合になると、夫人の方が强くキッパリしてゐた。

迫る京吉マラソン
あす新京豫選決行
非常な接戰を豫想

走路　西公園、大經路、南嶺街道、大同大街、西公園

恒例京吉大マラソンは六月二十日盛大に擧行されるがこの大會に新京を代表して出場すべき選手十名補缺二名を決定する新京豫選會は愈よ二十九日午後二時半より西公園で擧行されることになつた、參加申込者は日滿兩國人合はせて五十名各々連日の猛練習に自信に滿ちた健脚揃ひで非常な接戰が豫想され人氣いやが上に昂つて居る、豫選會は二十九日午後二時半西公園集合、同三時出發、走路は西公園より大經路、南嶺街道を經て大同大街に入り西公園前に歸着する一萬二千米で申込者左の通り

▲中村梧(二七)中央電話局▲金壽玉(三五)大同報總支社々員▲金永昌(二〇)新京專賣署▲獨孤玗(二一)開原體育協會▲許松鳳(一九)新京地方檢察廳▲山村達夫(二一)商店員▲蘇良玉(二三)特別市公署總務科▲白利洽(二三)店員▲于希渭(二八)文敎部總務科▲白昌祚(一八)金允成(二〇)總務廳情報處▲外山平(三〇)電々會社▲朴武甲(一八)新京普通學校生徒▲林泰燮(一五)▲李聖學(一五)▲豪田久治(二四)新京消費組合▲李孝根(二二)新京工業學校生徒▲桂林茂(二二)同▲韓俊赫(二四)國都建設局▲石垣三彌(二四)中央電話局▲鶴田光雄司法部▲嚴彬(二五)新京工業學校生徒▲成本昇(二〇)大興公司▲馬長青(二三)交通部集計科▲何佩(二三)教育講習所▲趙密(二九)同▲畢紹田(二六)教員講習所▲劉毓琮(二三)同▲周雲橋▲范傳義▲陳希崑▲郝世縣▲李增蓮(二三)▲趙基純(二七)新京日々新聞社▲崔璋南(一九)同▲加藤明(二三)同▲周復喜(一七)未登錄▲方景河(二〇)新京專賣所▲尹永善(二二)新京醫學校▲今元健治(二〇)新京青年學校四年▲張從善(二四)滿洲行政學會印刷係▲張錫增(二四)同▲劉百川(二〇)同▲揚壓亭(一八)同▲張榮顯(一九)同▲李文發(二四)同▲魂永貴(二四)電氣廳務科▲成澤武夫(二二)營繕需品局▲金俊錫(一八)▲南屋政仁(二一)新京驛小荷物掛

惡家主退治に新京署乘り出す
暴利取締令を適用斷乎處分

最近の物價騰貴にも拘らず國都の家賃は依然として高く平均疊一枚が月五圓と云ふ有様で正にサラリーマンの受難時代とさわがれてゐる、これが原因は勿論建設途上にあるアパートの數が需用にみたない點もあるが、弱味につけ込んで暴利をむさぼる惡家主も跳梁してゐるので關東局では各警察署に命じ徹底的に調査せしめ不當な家賃をとつてゐるものには斷乎暴利取締令を適用處分する方針をとる事となり曩に新京署では高利貸退治をやり數名の業者に退去處分を命じたがこれも略一段落したので今度は惡家主の退治に全力を集中する方針で既に各派出所に命じ調査を開始した

三笠小學校御眞影
今夕新京着

新京三笠小學校に御下賜の御眞影は二十九日午後六時二十分着あじあで下田滿鐵學務課長が捧持して新京に御到着、驛頭には柴崎總領事代理、辻學校長以下各教職員及び同校第三學年以上正副級長その他多數が驛頭にお迎へ申し上げ列車内で學務課長から田中地方課長がお受けし、學校々長室まで捧持、辻學校長は校長室で受領して安置室に安置奉る、なほ同校では二十九日午前十時から講堂で奉戴式を擧行される、式次は開式の辭、國歌合唱(開扉)、拜賀、勅語捧讀、奉答歌合唱、總裁告辭(田中地方課長代讀)學校長の戒告、奉戴歌合唱(閉扉)閉式の辭

乳幼兒審査申込み
三百名突破か
◇……二日から兒童愛護週間

滿鐵新京事務局地方課主催、本社後援の兒童愛護週間は六月二日から八日まで

開催　されるが期間中は童話會(六月二日午前九時—十時室町校、十時—正午白菊校、午後一時半—午後二時順天小學校)乳幼兒審査會(六月二、三、四、五日午後一時より三時まで滿鐵醫院小兒科)優良兒表彰式(十七日午後一時)乳幼兒健康相談(二日から八日まで午前九時—午後三時祝町滿鐵保健所)幼兒野遊會(五日午前十時—正午)小供大會(六日午後一時)優良兒寫眞展覽會(六月十二、十三、十四)等盛澤山のプログラムで盛大擧行することゝなつたが乳幼兒審査申込みは二十八日までに早くも百五十名を突破する勢で三十一日の締切までには三百名近くなる模様である、なほこの機會に迷子の頻發するのに鑑み各種催物多數人出の場所等に出る子供には必ず住所氏名電話番號を

名記　した名札を附すこと、路上での子供の一人遊びを注意すること大人會合の席上に子供を伴はぬこと等につき徹底的宣傳を行ふ豫定である

海邊は早くも顧客を招く
來月十日貸別莊は開業

南滿の初夏は早くも海水浴顧客を招き、色々設備を急いでゐるが夏家河子海水浴場は來月十日から華々しく開場、水明館碧漣莊、彩雲閣、海濱館など各貸室旅館も開業する、なほ大連星ヶ浦家族旅館も六月十日から開館して夏季保健慰安休養の旅客を待つてゐる

外交員惡事

東京小石川區生れ、大同大街某會社外交員中尾次郎(三六)は三月十六日頃より集金を胡魔化してゐたが屆出に依り二十七日午後九時朝日通八十三番地で財前刑事に逮捕された取調べの結果被害金額は百十圓で全部梅ヶ枝町三丁目十六番地採相との共同事業につぎ込んでゐることを自白した

頭道溝郵便局で名札配達

郵便局で最も惱まされるのは手紙の宛名不明瞭と名札のない家である、殊に滿洲國郵便局では配達人が滿洲國人だけに配達に尠からず時間を費すので日本人關係の最も多い頭道溝郵局ではこの弊を除くため過般來實費十錢で希望者に名札を配付してゐるが好評を博し既に百數十に達してゐる希望者は電話又は配達人にその旨申込めば直ちに名札を屆ける筈である

ハイクと旅の展覽會
愈よあすから
三中井ギャラリーで

激務につかれ塵にまみれた都人の保健と慰安のため新京を中心としたハイキングコースス清遊地を紹介すべく實地踏査を行つてゐた新京驛、鐵路總局、觀光協會、ジャパンツーリストビユーロー新京案内所新京バス會社並に本社では愈よ調査を終へたので二十九日より三日間三中井百貨店五階に寫眞、地圖、ポスター、ジオラマ等を陳列しハイクと旅の展覽會を開催し同會場にはジャパンツーリストビユーロー新京案内所並に新京バス會社係員が出張して質問に應じ懇説に説明相談することになつた

電業公司の防護施設
積極的に完備
本社内に防空委員會組織

滿洲電業公司では同社の特殊使命に鑑み防空、防護に對する重大なる責務を果すため本社、支社、出張所における既設の各防護團を統制ある組織に改編し、今回電業全社を打つて一丸とする電業特殊防護團を結成することになつた、これは各發電所、變電、送電の施設に對して三百萬圓乃至五百萬圓の巨費を投じ平時より防空、防護の萬全を期するとゝもに社員にこれに伴ふ特殊の訓練を施さんとするものである、從來の電業各防護團には横斷的な統制乏しく從つて徹底的訓練を行ひ得ない憾みがあり、防空演習に際して燈火管制をなし得る程度で電氣事業に對する特殊の防護施設を缺いでゐたが、今回の新組織で防空、防護施設を積極的に完備するため本社内に防空委員を設けて小池總務部長を委員會々長とし各課長、係長二十名を專門委員として管制、防護、統制の三班に分け次の各項目にわたつて研究成案を得次第逐次實行に移すことになつた

一、防空諸機關との協力連絡
二、電氣工作物に對する防護施設
三、燈火管制の施設、方法
四、燃火管制の普及、宣傳
五、防護資材の整備
六、防護關係支出豫算

國婦日清紡慰問團

國防婦人會日清紡績分會慰問團十二名は來月四日午後四時二十分着列車で來延一二三氏に引率されてハルビンを經由して來京、一泊して翌五日のあじあで奉天へ赴く豫定である

大連寫眞四人展

大連で寫眞を職業としつゝ藝術寫眞に精進してゐる加藤正之助、内田實、木下勇、森崎曉光以上四氏の作品をあつめた大連寫眞家四人展が二十九日から三日間ニッケギャラリーで開催される、作品は總て四十餘點、靜物、肖像、風景等それぞれ興趣深いものがあり同好者の鑑賞に供される

湯原縣の犧牲
式場に安置

湯原縣の尊き犧牲者故參事官宮地憲式氏以下七體の遺骨は二十八日午後二時着あじあで民政部、總務廳その他各縣人など多數出迎へをうけて淋しく到着直ちに合同慰靈祭式場公會堂に行列をもつて向ひ、祭壇に安置された

驛ビユーローで
北支視察團募集

新京驛、ツーリスト・ビユーローでは來月十五日から二十一日まで七日間の期間で北支巡りの旅行團體二十名を募る十五日午後三時四十分發列車で新京を出發、奉天から國際列車で天津にいたり、北京に三日間滯在、各方面視察の上引返し、山海關を見學して二十一日歸京の豫定、團費は汽車賃旅館等凡て二等料金で百十七圓、希望者は驛、ビユーローまで申込みのこと

空の超特急
今夕五時五分新京着

東京新京兩國都を八時間で結ぶ日本航空輸送會社自慢の空の超特急中島式AT型十二人乘旅客機の東京—新京間試驗飛行は二十七日内地の天候不良のため廿八日擧行された、晴れの使命を荷ふ純國產の彈丸機は鳥居操縱士細川航空士有川機關士、土橋無電技師等が同乘して午前七時二十分東京飛行場を離陸一路新京に向つて飛び出した旨入電あつた新京着は午後五時五分の豫定である

日本空輸社長設宴

東京新京線一日連絡定期航空はいよいよ六月一日から開始されるが日本航空輸送會社取締役社長原邦造氏は同日午後六時三十分から新京ヤマトホテルに在京各機關代表者を招いて披露の盛宴を張ると

三中井の人形展
川又梅子さんの獨創による

ダイヤ街新京美粧俱樂部宅川又梅子さんが來る六月一日より三日間に亘り三中井百貨店で人形の展覽會を開くことゝなつた、一時フランス人形が流行したが、これはただ室内裝飾として珍らしがられる程度に過ぎず日本人の趣味にはぴつたりせぬものがあるので氏は東西人形の容姿、着付結髮、殊に衣裳の色彩柄の選擇等苦心研究の結果純日本風の獨創的な人形を工夫し發表し樣と云ふもので一般から多大の期待がかけられてゐる

陸練の卒業式に侍從武官御差遣

皇帝陛下におかせられては六月五日擧行される奉天陸軍中央訓練所卒業式に侍從武官連組上校を御差遣あらせられるが、連侍從武官は四日新京發五日卒業式に臨み即日歸京の豫定である

二階堂少將來京

吳海軍工廠部長二階堂少將は滿洲各地視察のため二十八日朝鮮から本溪湖着二十一日本溪湖發着京、六月二日新京發撫順着、六月四日撫順發鞍山着、六日鞍山發大連へ向ふ豫定である

五色會發表會
卅一日から

多年新京に於て歌舞伎振付師匠として重きをなしてゐる、市川松之助師は今回在京の演劇人並びにカフエー演藝大會で御馴染みの腕達者連を集め「新興五色會」を組織し來る五月卅一日より三日間毎夕午後五時より記念公會堂に於て第一回公演會を開催する事となつた、同會は眞摯なる演劇研究團體で歌舞伎、新劇總べてを網羅し今後愈よ組織を強固にし、公演を續け、地方演劇界のために萬丈の氣を吐かんとしてゐる、今回の後援團體は新京放送局、月刊雜誌新京社、カフエー組合有志、料理店組合有志であるが、當日の盛會が思はれる藝題は左の如くである

喜劇　ロシアサラダ　三景
喜劇　眠駱駝物語　三場
時代劇　赤城山　三場
劍劇　股旅人形　二場
歌舞伎劇　白石噺　新吉原
同　御所櫻　辨慶上使
同　引窓　八幡村の段

向入場料は一般一圓軍人五十錢小人三十錢である

在京佐賀縣人會

新京佐賀縣人會の家族野遊會は三十日午前九時から西公園忠魂碑前廣場で開催されるが年に一度の團欒とて大いにおくに言葉で無邪氣に遊ばうと幹事は目下プログラムの編成に頭をしぼつてゐる

學生柔道聯盟
滿洲遠征軍
近く來京

【大連國通】第九回日本學生柔道聯盟滿洲遠征軍主將早大永光五段以下二十四名は高瀨學聯理事長、牧野、河部各六段等に引率され二十七日午前入港のうすりい丸で來連したが、今回の遠征軍は五段十四名を擁し現在東都學生柔道會における錚々たるメムバーでこれを迎へてオール滿洲軍は二十八日午後四時半より中央

新京野球リーグ
打擊ベストテン

新京野球リーグ戰は去る廿二日の滿洲國對電々一回戰を皮切りに滿洲國對電々一、二回戰、新京對電業一、二回戰と前哨戰を終り來る廿九日より愈々佳境に入ることゝなつたが、現在までの打擊ベストテンは左の如くである

	打數	安打	打率
近藤(電々)	8	5	.625
西川(電業)	5	3	.600
稻田(電々)	5	3	.600
杉田(電業)	7	4	.571
田中(電滿)	8	4	.500
彰谷(電業)	8	3	.375
二木(電滿)	7	3	.429
佐々木(滿)	9	3	.333
横内(滿)	9	3	.333
古岩井(滿)	6	2	.333

アラメダ大勝
9A—0
對奉天滿俱戰

【奉天國通】入滿以來連戰連勝の強チームアラメダ野球團對奉天滿俱の野球戰は廿七日午後五時十分より奉天國際球場において奉天軍先攻で開始結局九A對〇でアラメダ軍快勝す、閉戰六時半

スコア

奉天	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アラ軍	0	0	0	1	0	3	0	5	A	9A

忌明寄附

老松町三丁目岡本稔さんは鶴技夫人(二九)の忌明に際し二十七日午前貧民救濟金にと新京署に出頭一金百圓也を寄贈した、係官はこの奇篤な行爲に感激し何とか有効に用ひませうと受理した

あす(二十九日)

▲新吉マラソン新京豫選、午後二時半、西公園前集合
▲ハイクと旅の展、三中井
▲忠靈塔合祀奉告祭、午後七時
▲三上和志氏講演、午後八時白菊町滿鐵俱樂部
▲競馬
▲ハリウッド、レヴュー公演豐樂劇場
▲國都映畫研究會映畫公開、西廣場滿鐵俱樂部
▲野球リーグ戰、新京俱樂部對電々、午後五時十分、西公園球場

◎今晩の主なる演藝放送◎

▲七・三〇謠曲「鷺」(京都)▲八・〇〇音樂と文學(東京)日本放送交響樂團外▲八・三〇連續ラヂオ小說「土」(東京)村田みね子外▲一〇・〇〇ラヂオドラマ「或るアパート風景」(大連)糸山貞家

第一部　新京陳列窓裝飾競技會豫想投票用紙

壹等	貳等		參等			住所	氏名
一席	一席	二席	一席	二席	三席		

一人一票に限る
用紙外の投票無効

備考　イ、日人商店を第一部とし、滿人商店を第二部とす
ロ、投票者に於て部別を明記せざるものは無効とす
ハ、締切日五月三十一日午後十時
ニ、投票場　日本橋通電業支店、興安大路營業所、城内營業所、新京輸入組合

第二部　新京陳列窓裝飾競技會豫想投票用紙

壹等	貳等		參等			住所	氏名
一席	一席	二席	一席	二席	三席		

一人一票に限る
用紙外の投票無効

備考　イ、日人商店を第一部とし、滿人商店を第二部とす
ロ、投票者に於て部別を明記せざるものは無効とす
ハ、締切日五月三十一日午後十時
ニ、投票場　日本橋通電業支店、興安大路營業所、城内營業所、新京輸入組合

"沙漠の花園"

宗教くさい……ユナイト作品

◇……色彩映畫が段々と技術的に發達して來ると、黒白の銀幕を通して見て來た色々な俳優達を一度は色彩の中で見たいといふ氣持に誘はれるであらう、マルレーネ・ディトリッヒのやうな魅力のある女優ともなれば、この氣持はなほ更らのことである、色彩映畫が單に色彩的なものゝみを扱ふことに何時までも停滞してゐていゝものではないのであるとすれば、こゝに此の映畫がデイトリッヒを主演者として選んだことは、興行價値を高める上から言つても當を得たことゝ言はねばならぬ單なる繪畫的な色彩映畫からの一つの進歩であるとも見られやう。

◇……然も、色彩を浴びて登場したデイトリッヒは非常に美しい存在であつた、定評の如く、これはこのデイトリッヒあつて始めて存在理由を持つものである、企劃としての目的は完全に達せられたと言ふべきであらう、そして相手役に廻つたシャルル・ボワイエが修道院を脱走した僧侶の煩悩を程度に演じてのけてゐるのも色彩映畫が俳優の演技をも生かすことに留意しはじめてゐることを物語るものであつて、在來の色彩映畫との相違を示してゐるものである。勿論これは、ほんの僅かばかりの箇處であつて、全體として依然繪畫的なものが多くと り入れられてあることを認めない譯にはゆかない。

◇……原作はロバート・ヒッチエンスの小説で、この原作はこれまでにも二、三回映畫化されたものと聞くが、この映畫からしてみると、戀愛と宗教、愛と信仰の相剋、これによる犠牲等を扱つた古臭い精神的な物語りであるやうだ、そして我々には餘り親しみの感ぜられないものなのであるが、W・P・リプスコームとリン・リグスの脚本も、リチャード・ボレスラウスキーの演出も至極通り一ぺんのものであつて、取材の魅力同様、觀るものに訴へる力は極限されたものである、要するに前述の如くデイトリッヒがなかつたらこの映畫は宣傳程に騒がれるものではない、色彩監督はナタリー・カルマス助演者はベルジ・ラスボーンジョゼフ・シルトクラウト等他にテイリー・ロッシュが踊りの場面を買つて出てゐる。帝都キネマ上映中、寫眞はその一場面（N生）

人妻椿大會　けふからの長春座

長春座廿八日よりの番組は左の如く松竹大船人妻椿大會にワーナー作品を配した二本立編成である

▽松竹大船「人妻椿」前後篇　美しい人妻が夫を失つて辿る苦難の生活を描いた悲涙ものがたり、今度は前後廿卷の同時公開である、川崎弘子、上原謙、佐分利信、飯田蝶子、三宅邦子、吉川滿子、坂本武、山内光、上山草人、藤野秀夫、河村黎吉、笠智衆等が主演、松竹昨年度の興行的ヒット作品作るは野村浩將監督、原作は小島政二郎のもので主婦の友に連載された、何がさておき婦女子間に絶大の支持があるのが強味で映畫館にも至寶的商品である

▽ワーナー「火の鳥」ヴアリイ・テイーズデール、リカルド・コルテス、ライオネル・アトウイル、アニタ・ルイズ等の主演する映畫で一人娘を溺愛するのあまり自由な若人達の交際を禁じやうとした兩親の誤まれる教育方針を指摘した物語りウイリアム・デイーターレの監督作品

自雷也小僧　けふからの新京キネマ

新京キネマ廿八日よりの番組は左の如く日活一番線に再映プロを配した二本立編成である

▽日活京都「自雷也小僧」前後篇　前篇旋風篇　後篇電光篇の同時上映で江戸の闇に旋風の如く跳躍する大俠盗自雷也小僧の活躍を描いた劍戟もの、大城龍太郎主演の他に深水藤子、山田好良、衣笠淳子、進藤英太郎、賀川清等が助演、辻吉朗監督になる卅卷の大作

▽日活東京「からくり歌劇」サトウハチローの原作に基き大谷俊夫が監督に當る音樂喜劇、杉狂兒、小林重四郎、山本禮三郎、高瀬實乘、鳥羽陽之助、藤原釜足、これに市川春代、山一郎、柿木繁夫等も顔を並べてゐる

シネマボテ

銀パレスの勝美さん近頃いい人が田舎の方に行つてゐるので淋しいさうな、近頃彼女の云ふことが非常に意味深だ▼全然男を知らない人は我慢出來るかも知れないけどわたしとても我慢出來さうもないわ▼とね、その氣持よくわかる　それから例の大原ひろ子君が一段と綺麗になつて又やつて來ました、どうぞ皆様倍舊のごひいきに

雑音

長春座に「人妻椿」が大會ものとなつて登場した、前後獨立して公開された時の人氣も素晴らしいものであつたが、再映となつて又婦女子の紅涙を搾ることであらう、そのためか料金も刎ね上つて四十錢、例によつて安心した興行が打てるであらう▼新京キネマも「自雷也小僧」大會である、日活の中庸をゆく作品どれ丈けの成果を見せるか、近く日活作品は、こゝ以外に某館へも掲るとか言ふ話があるが、日活作品も落ち日になつて榮えないのは氣毒である▼帝都の「沙漠の花園」は添ものに「お笑ひもの」を配したことに、番組としての恰好を整へてゐるものと言へやう「お馬に乘つて」「極樂荒療治」が迎へられてゐるのは「沙漠の花園」が意外に重苦しい寫眞であることにもよらう

ハリウッドレヴュー

＝あすから豐樂劇場公演＝

全聖林選りぬきの美人揃ひをもつて組織されたアメリカ生粋のハリウッド・レヴューは愈よ明二十九日より二日間に亘つて豐樂劇場の舞台に登場するが、金髪半裸のエロテイシズムと異色に富む娘子軍の華々しい初の公演に寄せられる期待は大きい、一行のキヤストはアクロバット・ダンサー、ジヤズ・トウ・ダンサー、タップ・ダンサー、フラ・ダンサー、コミック・ダンサー、アコオデオンの名手等、凡そヴオードヴイルに必要とされるものを完全に整備した座組みで、最初のスヰイング・ミユージックに乘つて唄ひ踊りまくる美女軍の蠱惑は蓋し最も好奇あるものと言はれよう（寫眞はその舞台面）

鋼材供給の問題で 日鐵解釋異にす

商工省、政治的解決に乘出さん

日滿商事への鋼材供給につき日鐵が指定商を通じて行ふといふ回答に對し日滿商事は既報の如く日滿協定の精神に反するものとしてゐるが、日鐵が依然として指定商介在論を撤回しない場合は先般取交した日滿協定を撤回しあらためて商工省と滿洲側の交渉に移す外なしとしてゐるので簡單に解決を望む事は不可能となつた、日滿兩者の意見の對立は要するに覺書の解釋に於る相違に依るもので日鐵は日滿商事に一手に引渡すとは規定したが直接供給の字句はないが一手に引渡すといふ意味は當然日鐵より供給するものと解釋すべきで本來ならば直接滿洲國供給するべきものを滿洲國にはそういふ機關がないから日滿商事が其代行をしてゐたわけで之がなほ日鐵が指定商を介在せしめんをする眞意は不可解であるとなしてゐるしかして日滿商事は指定商を除外する代償として滿洲國に於て四社にも市販鋼材についても下請させ一分三厘程度の口錢を出す意向であることを明示してゐる、日滿商事側の態度よりみて妥協の餘地は殆ど發見されないから日滿協定の覺書は兩者に認識の相違がある以上一應廢棄してやり直す外なく結局再び商工省が乘出し局面の打開に努めるものとみられる

住友進出を計畫し 滿鑄と對立す

―滿洲での車輪製作で―

車輪の製作は住友金屬が技術並に能力とも殆ど獨占的の勢力を占め滿洲へも滿鐵が社給品として各工場に供給するものは凡て住友製品に依つてゐる譯であるが昨年九月創業した滿洲鑄鋼所では當初計畫中にも車輪の製作は一種目に入れてをり愈々第二期擴張の時機に到達した今日これが製作に着手せんとするに至つたが最近住友金屬も滿洲國の現地調辦主義に基いて現地に於て車輪の製作を開始せんとするもの丶如くで、灰聞する處によれば既に申請書の提出がなされたと

滿鮮工業者大會 九月新京で開く

朝鮮から約二十名出席の豫定

【京城支局】滿鮮工業者大會は來る九月十、十一兩日新京に於て開催されるが、鮮内からは關係當業者約廿名出席の豫定で、提出議案は七月迄に滿洲側と朝鮮側に於て夫々取纏め更に兩者交換して重複なき樣整理することになつてゐる、尚ほ滿洲國では産業五ケ年計畫も決定し朝鮮の工業界も躍進の一途を辿りつ丶あり鮮滿貿易も益々重要性を加へつ丶ある折柄右大會の成果は頗る注目されてゐる

錦州省内道路計畫 本年度分決定

産業開發一般行政はいふまでもなく治安維持上重大なる要素となるべき道路網の完成に乘り出した錦州省公署では過般國道、省道、縣道合して三四五一・四粁に亘る大道路網計畫を樹立したが、いよいよ本年度工事着手に決定せるものは左の三線と外に架橋三ケ所で、何れも既に工事側量を開始した、新建設の橋梁は總て鐵筋コンクリート材を使用の方針で、雨季出水に際しても流失の惧れ等根絶される譯である

國道

台安打虎山線(台安、大虎山間四〇粁)

北票承德線(北票、董家店間一〇〇粁)

綏中凌源線(綏中、高家屯間四三二粁)

合計一八三、二粁である

ソ聯に於ける 農機具計畫

滿洲國の産業五ケ年計畫に伴ふ農機具の需給は大日本農機具輸出組合の設立により拓務省の對滿移民政策の遂行と相俟つて愈々本格的軌道に乘らんとしつ丶あるが、一方滿洲國に隣接するソ聯邦に於けるトラクターを筆頭とする各種農機具需給計畫は大要次の如く著しい數字を示しつ丶あり滿洲國における農機の將來における需給政策上注目に値するものがある

トラクターステーション 五千六百十二ケ所

チエリヤビンスクトラクター工場 一萬三千台

スターリングラード及ハリコフトラクター工場 二萬五千台

滿化社長 高橋子來滿す

【大連國通】滿洲化學工業會社々長高橋是賢子は、來る廿七日滿化本社における定期株主總會出席のため藏川取締役川崎經理課長、小林秘書等を帶同、廿七日入港のうすりい丸で來連した、同社長は船中で語る

今度の總會では別に取立てゝいふ事もない、監査役の期限滿了はいづれも重任になる筈だ、利益金も昨年よりは多少よいやうだ 内地でも種々關係會社の總會時期だから新京には行かず、來月二日の船で内地に歸へるつもりだ

工場取締規則制定 朝鮮で進捗す

―大體内地法に準據す―

【京城支局】朝鮮に於ける工業は目下發展の過程にあり今後共助長振興をはかり國力の充實を期すべきは勿論であるが一面十人以上の職工を使用する工場は二千に及び職工數の如きは十一萬六千名に達してゐる、しかして工場災害に起因する傷者(疾病者を含む)の數は交通事故を始め水火災火藥事故等主要なる社會的災害に因るものに比すれば實に八倍に當る有樣でか丶る事態を警察取締上一日も放棄することは出來ぬと云ふ見地からかねて總督府警務局では工場取締規則を制定し災害豫防上の指針たらしむべく起草中であるがその骨子は大體次の如きものである即ち

第一節 總則

第二節 工場設置及變更

第三節 工場衞生

第四節 工場災害豫防

第五節 公害豫防

第六節 雜則

第七節 罰則

同規則は大體内地法に準據したものであるが職工の保健、保持風紀その他公安保持等に關する規制を加へたことは朝鮮獨特のものとされてゐる

土建ニユース

決定工事

●滿鐵地方事務所

▲大沙河水源地宿舍煉瓦塀修繕工事 單獨 三百八十圓 清原組

▲鷄冠山第一號社宅二戸增改築工事 示談 五千二百二十五圓九十一錢 清原組

●滿鐵鐵道事務所

▲鷄冠山驛構内に便所假設工事 五、四八七、〇〇 同組 / 五、五五五、〇〇 草場組 / 五、七九二、〇〇 葛井組

▲龍高間切土假盛土法面其他水害復舊工事 單獨 百圓 葛井組

▲四通間切土假盛土法面其他水害復舊工事 單獨 一千二百六十一圓六十錢 荒井組

▲高鷄間切土及盛土法面其他水害復舊工事 單獨 一千二百二十一圓 岡組

▲新義州送電線改設に伴ふ鴨綠江護岸一部撤去並に復舊工事 單獨 二千六百五十圓 三田組

▲安東驛構内地下道翼壁及切土盛土法面其他水害復舊工事 單獨 百三十圓 三田組

▲安東水道送水宮一部移設工事 單獨 一千百七十一圓五十錢 細川組

▲安東驛南信號所家外階段取替工事 示談 三千七百八十六圓五十五錢 池内市川組

第一回入札 三、九九〇、〇〇 小島組 / 四、一九〇、〇〇 水間組 / 三、九六二、〇〇 右同

第二回入札 三、七九五、〇〇 池京組 / 三、八四〇、〇〇 小島組 / 三、九〇〇、〇〇 水間組

落札 四十五圓四十錢 草場組

▲安東檢車區事務所屋根一部修理工事 六八、一六 福地組 示談 百八十三圓六錢 荒井組

預告工事

●營繕需品局

▲國務院大臣總務廳長秘書官舍新築其他 一九六、六〇 右同 / 一〇〇、三四 清原組 / 一〇三、四〇 大林組

▲總務廳長官邸擁壁新設工事 右二件 開札 五月二十八日午前十時

決定工事

●營繕需品局

▲龍井郵局新築工事 示談 二萬四千二百五十九圓 京城土木

▲國務院總理大臣總務廳長兩秘書官舍新築其他工事 落札 一萬二千二百三十圓 康德組

一三、二〇〇、〇〇 澁谷工務所 / 一三、八五〇、〇〇 多田工務所 / 一五、七五〇、〇〇 戸田組 / 一八、五〇〇、〇〇 柴田建築

▲哈爾濱經緯警察署廳舍新築工事 示談 五萬三千七圓百 阿川組

第一回入札 五六、〇〇〇、〇〇 葛井組 / 五五、六五〇、〇〇 伊賀原組 / 五六、七〇〇、〇〇 大同組 / 五三、八〇〇、〇〇 吉川組 / 五五、八〇〇、〇〇 柴田工務所 / 五四、八六〇、〇〇 阿川組

第二回入札 五四、八〇〇、〇〇 葛井組 / 五四、五五〇、〇〇 伊賀原組 / 棄權 大同組 / 五四、七七五、〇〇 吉川組 / 五四、八〇〇、〇〇 柴田工務所 / 五四、三〇〇、〇〇 阿川組

▲寬城子警察署增築工事 第一、二回入札豫超未決定

第一回 二六、七八五、〇〇 森本組 / 二四、七五〇、〇〇 和田工務所 / 二三、三〇〇、〇〇 松本組 / 二六、八五〇、〇〇 葛井組 / 二九、五〇〇、〇〇 服部組

第二回入札 二四、六五〇、〇〇 森本組 / 二四、五〇〇、〇〇 和田工務所 / (棄權)松本組、葛井組、服部組

▲興安學院用建物增建改造工事 第一、二回入札豫超未決定

第一回 二四、五〇〇、〇〇 高山組 / 二五、〇〇〇、〇〇 福高組 / 二六、五〇〇、〇〇 亞細亞工務所 / 二六、三〇〇、〇〇 三田組

第二回 二三、三〇〇、〇〇 榊谷組 / 二三、五五〇、〇〇 福高組 / 二三、八〇〇、〇〇 亞細亞工務所 / 二四、〇〇〇、〇〇 三田組 / 二四、一〇〇、〇〇 高山組

▲王爺廟興安綿羊改良場羊舍增營工事 示談 八千五百圓 高山組

第一回 九、五〇〇、〇〇 / 第二回 八、八〇〇、〇〇

一〇、五〇〇、〇〇 高山組 / 九、一〇〇、〇〇 榊谷組 / 一〇、八五〇、〇〇 福高組 / 九、〇五〇、〇〇 / 一一、〇〇〇、〇〇 棄權 / 八、八五〇、〇〇 三田組 / 一〇、二八〇、〇〇 亞細亞工務所 / 九、一七〇、〇〇 草場組

豫告工事

●國務院自動車庫增築之内南門新設其他工事 開札 五月三十一日

●事務局

▲新京平安町共同給湯增改築工事 豫特 四百六圓六十八錢 柴田正

▲范家屯獨身宿舍增築工事 他工事

▲范家屯小學校汽室增設其 豫超 未決

▲新京露月町第一五號外二棟内種社宅六戸内部改造其他工事 豫定工事

▲新京露月町四號甲種社宅外一戸内部改造工事 開札 五月二十九日午前十一時

▲新京錦町第三號二社宅外一棟外二戸内部改造工事 開札 五月二十八日

●電業公司

▲奉天鐵西變更所新築工事 開札 五月二十九日

●國都建設局

▲康德四年度上下水管製作工事 單獨 六萬八千二百九二圓六十九錢 原組

▲大同大街延長建國大學附近道路道型築造工事 落札 一千七百八十圓 日滿土木

一、九一〇、〇〇 井上組 / 一、九五〇、〇〇 三田組 / 二、一〇〇、〇〇 菊池組 / 二、三四四、五〇 千々岩工務所 / 三、一三一、九二 畠山組

▲盛京大路一部道路並に假道路道型築造工事 落札 六百七十九圓三錢 弘隆組

二〇七、〇〇 吉本組 / 八五五、〇〇 坂本組 / 九五五、〇〇 山田工務所 / 一、四三〇、六〇 水間組

▲奉天總站貨物車務所新築工事 落札 三千七百四十六圓 審陽公司

三、八五〇、〇〇 復興公司 / 三、八五二、六〇 華興公司

決定工事

●鐵道事務所

▲大石橋構内上下本線旋擴延長並改築工事 開札 五月二十九日午前十時

●大連保線區

▲旅順ヤマトホテル黄金台本館並アネックス修繕工事 特命 四百四十二圓十四錢 村田梅吉

▲旅順ヤマトホテル黄金台貸別莊一號外八棟修繕工事 單獨 四百八十五圓 村田梅吉

●鐵路司

▲用度部事務所倉庫第四倉庫假倉庫增築工事 落札 五月二十八日午前十時

豫告工事

▲眞金町二一號社宅外39ケ所共同廊下天井水性ペンキ塗替工事 豫特 二百六十六圓 二瓶治夫

▲南關嶺十三號一内外ペンキ塗替修繕工事 豫特 二百九十圓 兒島四郎

▲露町六十三番地十六社宅外十六戸水性及ペンキ塗替工事 豫特 四百八十一圓 發頭助市

●大連工事々務所

六、五五〇、〇〇 寺本周二郎 / 六、八四八、〇〇 安藤哲三 / 六、八九〇、〇〇 梯千代松 / 六、九〇〇、〇〇 坂井敏三郎 / 七、六八〇、〇〇 長尾重雄 / 七、八五〇、〇〇 草場組 / 八、一七〇、〇〇 田中芳太郎 / 棄權 木村吉太郎

▲興安橋修繕工事 第一回入札 豫超未決

第一回入札 一、一三五、〇〇 吉本組 / 一、一〇〇、〇〇 森澤組 / 一、二六一、〇〇 山田工務所 / 一、三〇〇、〇〇 坂本組 / 一、六六七、〇〇 水間組

豫告工事

●滿洲炭礦

▲鶴丘炭礦工人舍宅新築工事 開札 五月三十日午前十時

決定工事

●電々會社

▲牡丹江電報局增築工事

▲牡丹江電報電話局增築の内煖房工事

▲牡丹江放送局送信所新築工事

右三件入札の結果豫超未決 再入札 五月二十八日

●市役所

▲大連中學校々内銃器庫新築工事 落札 六千四百九十八圓 野島常次

<table>
<tr><td colspan="3">
河野醫院
產婦人科・内科・性病科・齒科
醫學博士 河野省二
九州齒科醫學士 鄉間之助
主任産婆 天野ラサエ
入院往診隨意
豐樂路中央飯店前 三中井東半丁
</td></tr>
</table>

商況欄

(五月二十七日前場)

海外經濟電報

倫敦銀塊 二〇片一六分五
同先限 二〇片八分三
同金塊 七磅〇志七片〇〇
紐育銀塊 四五仙〇〇
同金塊 三五弗〇〇
孟買銀塊 五二留比八分五
英米爲替 四弗九三仙一五
日米爲替 二八弗八三仙
米支爲替 二九弗二九仙
スチール株 九九弗八分八
アナゴンダ株 五五弗〇〇
日英爲替 一志二片〇〇
英支爲替 一志二片六分九
日印爲替 七七留比二分一

▲米棉

現物 一三仙二七
七月限 一二仙七七
十月限 一二仙六九
十二月限 一二仙六九
一月限 一二仙七〇
三月限 一二仙七五
五月限 一二仙八三

▲印棉

ブローチ 二三八留比
オームラ 二二八留比
ベンゴール 一九九留比

▲市俄古小麥

五月限 一弗一八仙四分一
七月限 一弗一六仙八分七
九月限 一弗一八仙八分五

▲カルカッタ麻袋

青筋 二五留比〇〇
鐵筋 二二留比八分一

金銀市況

●上海標金 本寄 一二四〇、〇〇 步 ‖

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向 第一回 買 一〇三、六二五 賣 一〇三、八七五 / 第二回 買 一〇三、六二五 賣 一〇三、八七五
▲倫敦向 第一回 一志二片三二分一 / 第二回 一志二片三二分一
▲紐育向 第一回 二九弗一六分七

各地株式市況

▲阪神日米爲替

▲阪神日英爲替

▲滿洲中央爲替 上海向 九六弗 / 天津向 九六弗 / 紐育向 二八弗四分三 / 倫敦向 一志二片

▲東京株式(短期) 東新 / 鐘紡 / 日産 / 新鐵 / 滿鐵 / 大新

▲大阪株式(短期) 新東 / 新産 / 日鐵 / 大新

▲大連株式(短期) 五品 / 豆新 / 東新 / 滿鐵 / 同新 / 日産 / 鐘紡 / 日新

▲奉天株式(短期) 取新 / 新東 / 大新 / 日品 / 五新 / 豆新 / 鐘新 / 滿鐵 / 優先 / 同毛 / 電新 / 同甲 / 東乙 / 瓦斯 / 電業

各地商品市況

▲大阪綿糸 五月限 / 六月限 / 七月限 / 八月限 / 九月限 / 十月限 / 十一月限

▲大阪棉花 當限 / 先限

▲大阪人絹 當限 / 先限

各地特産市況

▲新京 現物 寄引 (一石値段)

大豆 / 高粱 / 小豆 / 玉蜀黍 / 先物

▲大連 ●大豆 五月限 / 六月限 / 七月限 ●高粱 五月限 / 六月限 / 七月限 ●豆粕 現物 / 六月限 / 七月限 / 八月限 / 九月限 ●豆油 ●大豆 袋入 五月限 / 六月限 / 七月限 / 八月限 / 九月限 / 三等限

九星	運勢	吉
一白の人	理想通りには行かぬ日臨機の處置を取べし	丙と丁と亥が吉
二黒の人	技巧は一切役に立たず眞面目に勵まるべし	丙と壬と寅が吉
三碧の人	損害多大なる日萬事控ゆるが安全金談亦凶	乙と庚と辛が吉
四緑の人	人の口先に乘りて思はぬ損失を招く事あり	甲と乙と庚が吉
五黄の人	他人を頼まず自力にて一家協力するが安全	丙と壬と寅が吉
六白の人	望みは叶へども書付類にて迷惑する事あり	丁と壬と癸が吉
七赤の人	今日の仕事は永く繁榮する基と爲るべし	丙と庚と壬が吉
八白の人	沈む心を浮立たせて勵まされば運勢傾かん	丙と北と寅が吉
九紫の人	轉に來たる幸運日起業開店名弘など殊に吉	乙と辛と寅が吉

土曜 舊四月廿九日 丙辰 大安 開 氏宿

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用③二三二五 營業局專用③三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

特別議會の召集期は來月十日頃決定の意向
林首相、きのふ閣議で傳達

【東京國通】政府は特別議會に邁進する決意のもとに、着々準備を急ぎいよいよ政策案の審議に着手することとなり林首相は廿八日閣議において正式に各閣僚に特別議會の召集期日およびその會期は來る六月十日頃に決定することゝしたい、ついてはまづ特別議會に提出する議案を検討する必要があるので、七十議會において審議未了となつたものおよび現内閣獨自の新政策を含めて來週中までに一應自分のところに提示してもらつた上、來月上旬の閣議においてその取捨選擇を決定することゝしたいと要求した、而して林首相としては從來特別議會召集は大體八月下旬の意向を有してゐたが、餘りに特別議會を遷延することは國務澁滯のきらひがあるので政府がかく召集期日の決定を急ぐことになつたものである

定例閣議

【東京國通】二十八日の定例閣議は午前十時二十分より首相官邸に開會林首相以下全閣僚出席、先づ佐藤外相より汕頭事件に關する對支交渉經過について地方的解決としての交渉は順調に進みつゝある旨を報告ついで杉山陸相より九州、關西、名古屋、地方視察の結果につき報告、河原田内相より右翼の時局協議會その他の革新運動につき報告、同十一時十五分散會した

煮え切らぬ回答
日高代理大使、王部長と會見
汕頭事件の解決要望

【南京廿八日發國通】日高代理大使は廿八日午前十時外交部に王正廷部長を訪問、汕頭事件の顛末を詳細説明
本事件は日支國交上重大なる障碍となる問題であるから、支那側は率直にその非を認め、問題を速かに解決し、將來の日支國交上に累を殘さぬやうされたいと佐藤外相の意向を傳達して王部長の善處を要望したがこれに對し王部長は
支那側も本事件により國交に影響を與へることは面白くないと考へてゐるが、各方面の報告が喰ひ違つてゐるので眞相の判明するを待ち考慮したい
と煮え切らぬ回答をなし不得要領の裡に同十一時會見を終つた【寫眞は日高代理大使と王正廷部長】

吉竹副領事 汕頭へ向ふ

【廣東廿八日發國通】中村廣東總領事は青山巡査毆打事件の重要性に鑑み、汕頭領事の應援協力を得、事件眞相の一層正確を期するため吉竹副領事を現地に派遣することゝなり、吉竹副領事は二十八日午前六時半中國航空機で汕頭に向つた

汕頭市長抗議は知らぬ
褚作鎌氏釋明

【廣東廿八日發國通】山崎汕頭領事に對する汕頭市長の逆捻的抗議が外交特派員公署の指令にもとづくとの報道に對し褚作鎌氏は之を否定し、廿八日午前中村總領事に對し左の如く釋明した
山崎領事に對する抗議は汕頭市長獨斷で提出したもので、廣東省政府の関知するものでない、當局は事件發生に際し、市長にもつとも友誼的に解決交渉に當れと訓令してある、自分は必ず滿足な解決を得るものと確信してゐる

迅速解決を督促
中村總領事、褚氏訪問

【廣東廿八日發國通】廣東總領事館發表＝中村廣東總領事は廿七日午後四時半外交特派員公署に褚作鎌氏を訪問、現地よりの報告に基きわが方の立場を詳細説明したる後支那側は本事件の重要性を認識して速かに政治的解決辦法を講ずべきであると述べ、事件の迅速解決を督促すると共に注意を喚起した、これに對し褚氏は自分の得た報告書は甚だ簡單であり、かつ日本側と事實が甚しく相違する點があるので現地の眞相調査のため凌士芬を吉竹副領事に同行せしめ汕頭に派遣することゝした、事實の前には責任を回避するものではない誠意をもつて如何樣にも解決をはかりたいと答へ午後六時會見を終つた

共同調査拒否（我政府の方針）

【東京發國通】汕頭事件に對する支那側の要求である共同調査問題について帝國政府は國家機關に對する侮蔑であり、領事裁判權が侵害された事件に共同調査の必要は毫もない、支那側自ら正直に調査すれば圓滿に解決することであると拒否する方針である

白晝、大道でなぐる
青山氏への暴行眞相

【廣東廿八日國通】汕頭において同市公安局員が日本領事館員青山氏を暴力を以て拉致拘留した事件については目下廣東日支兩當局間に交渉進行中であるが、同不法事件の眞相は左の如くである
五月廿二日青山氏の引越し荷物が引越先たる神州洋行裏口に到着したとき附近に立番中の公安局巡警はその荷物の内容等を訊問して立つた、青山氏は別に氣にもとめず二階に搬入し終つたところ更に公安局員一名が巡長一名を帶同し神州洋行に來り青山氏の國籍、氏名職業を質したので氏名、年齢を記入してある日本領事發行の引越し證明書を示したところ、公安局員は何故に戸口手續をなさぬかと尋ねたので青山氏は引越しについては領事館から市政府に對し通知してある旨を答へた、局員はこの際には何事もなく引揚げたがその後市山氏が階上で荷物の整理中先に一旦引揚げた巡長が來て引越しの手傳ひのため同洋行店内に居合せた同僚館員に對し青山氏の安公局出頭方を强要した、青山氏は日本の領事館員がかゝる强要を受くべきものでないことを答へ、階上に引きとりまた同僚からも種々説明してゐるうち別に公安局第二分局員が巡長を呼び出して何事か打合せたとみるや突然四、五名の武裝巡警が表口から侵入し、更に裏口からも同樣四五名が侵入、店内はこれらの巡警で一杯になつた、間もなく一齊に二階に上つて來たので、青山氏は階段の途中でこれを制止しやうとしたが巡長は青山氏逮捕を命じるので青山氏は日本人家屋に侵入する法はない、速やかに引きとれと告げた、押問答の揚句巡警は團となつて階段のガラス戸をこはしながら無理に階上に押上り青山氏が極力拘引を拒んだので折り重つて階上に轉落、洋服は破れ、ワイシヤツ、パンツ一枚の青山氏は白晝汕頭の大道を衆人環視の中に手をねぢ上げられ毆打されながら第二分局へ押送せられ夜の九時四十分頃まで公安局で錠をはめられ監禁されてゐたものである

香川縣々會議員 視察團來京

香川縣々會議員滿鮮視察團一行九名は庶務課長鹽川久敬氏縣囑田中好太郎氏とゝもに二十八日午後六時二十分着あじあで來京した、驛頭には同縣出身の植田特別市長代理、永井交通會社支配人その他多數縣人の迎へあり一行は新京神社に參詣して太陽ホテルに投宿した、なほ一行の氏名は左の通りである
香川縣會議員、今井浩三、堀川嘉太郎、溝淵松太郎、三好滿三郎、平野市太郎、關貫一、大林千太郎、片桐政貞、藤井政八、地方事務官、香川縣庶務課長、鹽川久敬、香川縣囑、田中好太郎

栗山瑞典公使 近く來滿

【東京國通】スウエーデン公使栗山茂氏は赴任に先立ち滿洲國視察のため六月三日東京發渡滿することになつた、歸途北支も視察する豫定である

"第一回滿洲興銀債券 今年中に發行"
富田總裁、昨日歸任談

富田興銀總裁は大藏省預金部から二千萬圓の融資を決定、二十八日午後三時着列車で東京から歸任したが、最近の日本の金融界の状況について語る
政界の不安から證券市場は總見送り、公債も發行價格を割る、入超はすでに五億に及ぶといふ狀態で、今のところ興業債券の發行は不可能だ、しかし日本興銀との間に今年中に第一回滿洲興業債券を發行することには諒解がついたので特別議會でもすぎ政局の見透しもつけば今秋頃發行出來るだらう、まだ發行額、條要については決めてゐない、滿洲國第二次產業開發資金についても同計畫の主義には贊成であるが、所要の資金を一括してシンジケート團で引受けると確約は出來ないといつてゐる、しかし滿洲で巨額の資金を要することは既に覺悟してゐるやうだ、滿洲國債シンジケート、滿鐵シンジケートとが合體して單一の滿洲關係シンジケートをつくらうといふ説もあるが、一部を除けば大體メンバーがダブつてゐるので拔打的に一社で引受けることや重複しないやうに統制を加へてゆくことには日本でも贊成だ、滿洲興業銀行としては今後滿洲人方面、農村方面の金融に力をそゝぎたいと思つてゐる、近いうちに牡丹江、佳木斯方面に視察旅行に出かけ

ボ首相掛冠
チ藏相組閣の大命を拜す

【ロンドン廿八日發國通】ボールドウイン首相は英帝ジョージ六世戴冠の御儀も滯りなく終了したので、愈よ掛冠引退、チエンバレン藏相が後繼内閣を組織するに決した、既に首相は廿六日の定例閣議において多年の同僚に袂別したが、廿八日午前九時十二分ダウニング街十番の官邸を立出でバツキンガム宮に伺候、ジョージ六世に辭表を捧呈、後繼内閣の首班としてチエンバレン藏相を奏薦した、ジョージ六世はボールドウイン首相の奏請に基き直ちにチエンバレン藏相を御召になり、藏相は午前九時五十分官邸を出でバツキンガム宮に伺候したが直ちに後繼内閣組織の大命を御受けしてこゝに英帝國宰相の印綬を帶びるに至つた、なほチ新首相は人も知る保守黨の大立物ジヨセフ・チエンバレン氏の次男で同じく保守黨の領袖故サー・オースチン氏の異母弟である

人事往來

▲本村仁一氏（會社員）二十九日來京都ホテル
▲渡邊幸太郎氏（吉林省公署土木科長）同
▲瀧澤仁吾氏（東洋パルプ）同
▲山田操氏（會社員）同
▲森田勝郎氏（官吏）同
▲村越信男氏 農事試驗所長 同
▲黒澤竹太郎氏（吉林省公署土木科）同

偶語

アイヌ退治に傳家の寶刀を拔いた當局は鮮やかな手際を見せてゐるが今度は惡家主退治に乘り出した▼新京の家賃乃至借間代の高率なことな各地觀光者の土産話の一つとなつてゐる程である▼事變直後の泡沫景氣時代には疊一疊につき十二圓もぼつた鬼のやうな家主があつたが▼其後アパートの續出により幾分減額されたとは云へ今尚ほ平均五圓といふ値段は▼種々の均衡上から云つても決して安價なものではない▼しかもボール紙の天井にボール紙の間仕切り疊は入つてゐるが内地の疊の三分の二程度で▼申譯時に數を合してゐるに過ぎないといふまるでこれで人間が住ふのかと思ふやうなのがざらにある▼これでは一疊五圓とは一體どこから割出したものか呆れて物が言へない▼内地式のアパートならばまだしもかやうな所でピン／＼五圓も取らうといふのでは高利貸以上の暴利である▼斷乎メスを振つて貰ひたい—が今一つ惡家主のある如く惡借主も相當あるやうだ▼これに對しても徹底的取締ることが結局社會淨化といふことになる

航空法公布さる（下）

第六章　雜則

第四十三條　主管部大臣は命令の定むるところにより航空の安全を害するの虞ある航空標識類似の燈火を制限停止又は禁止することを得
主管部大臣は重要航空路において著しく航空の障碍となるべきものあるときはその所有者又はこれに代りその行爲をなす權限を有する者に對し必要なる標識の設置を命ずることを得

第四十四條　第三十九條の航空機が故障又は避難のためその他止むことを得ざる事由により第四十條に規定する着陸の場所以外に着陸したるときは税關吏その他にある場合においては税關官吏にその他の場合においては警察官吏に遲滯なく屆出づべし
前項に規定する航空機は主管部大臣の許可を受くるに非ざれば離陸することを得ず前二項の規定は定期航空に從事する航空機にして主管部大臣の許可を受けたるものに之を適用せず

第四十五條　左の事項に關し必要なる規定は命令をもつて之を定む
一、航空機に備付くべき日誌その他の帳簿書類及附屬品その他の物件に關する事項
二、保安上又は軍事上の必要のため航空機に搭載することを制限、停止又は禁止する火藥類、寫眞機その他物件に關する事項
三、航空機に關する燈火及信號に關する事項
四、航空に關する保安上必要なる制限ならびに空難の豫防及救護に關する事項
五、航空標識その他航空の安全のためにする施設及その設置に關する事項

第四十六條　當該官吏はその職務執行のため必要ありと認むるときは航空機の離陸停止又は着陸を命ずることを得

第四十七條　當該官吏はその職務執行のため必要ありと認むるときは航空機、飛行場又は格納庫に臨檢し帳簿書類物その他に關し檢査又は尋問を爲すことを得

第四十八條　本法又は本法に基きて發する命令により爲したる特許、許可又は認可の附款に違反したるものあるとき又は公益上必要ありと認むるときは主管部大臣はその特許、認可又は許可を取消すことを得

第四十九條　本法中主管部大臣と稱するは第五條、第卅六條及び第卅七條の軍事上必要なる事項については交通部大臣および軍政部大臣第四十條及び第四十四條については交通部大臣、民政部大臣及民政部大臣、財政部大臣（蒙政部管内にありては蒙政部大臣）としその他の條項については交通部大臣とす

第七章　罰則

第五十條　第卅五條第一項の規定に違反したる者は七年以下の徒刑に處す

第五十一條　第卅五條第二項又は第卅六條の規定による制限、停止又は禁止に違反したる者は五年以下の徒刑又は五千圓以下の罰金に處す

第五十二條　左の各號の一に該當する者は三年以下の刑又は三千圓以下の罰金に處す
一、第五條の規定による制限、禁止その他主管部大臣のなしたる命令に違反したる者
二、第六條若は第十二條の檢査に合格せざる航空機を航空の用に供したる者又は十五條第一項の規定により主管部大臣のなしたる命令に違反したる者
三、第十條の規定に違反して國籍記號若くは登錄記號を表示せざる航空機を航空の用に供したる者又は虚僞の國籍記號若くは登錄記號を示したる航空機を航空の用に供したる者
四、第三十七條第一項の規定に違反したる者又は第三十七條第二項の規定に依る命令に違返したる者
五、第三十八條の規定に違反したる者
六、第三十九條の規定に違反したる者
七、第四十五條第二號又は第四號の規定に依る命令に違反したる者

第五十三條　左の各號の一に該當する者は二年以下の徒刑又は二千圓以下の罰金に處す
一、詐術を用ひ第六條若くは第十二條の檢査を受け又は不實の事項を登錄せしめたる者
二、第三十四條の規定に違返したる者又は第四十六條の規定に依り當該官吏の爲したる處分に違反したる者
前項第一號の罪の未遂犯はこれを罰す

第五十四條　左の各號の一に該當する者は一年以下の徒刑または千圓以下の罰金に處す
一、第十六條第一項の規定に違反したる者または第廿一條第一項の規定により主管部大臣の爲したる命令に違反したる者
二、第廿七條若くは第廿八條の規定により主管部大臣の爲したる命令に違反したる者第四十三條第一項の規定による制限停止若くは禁止に違反したる者または第四十三條第二項の規定により主管部大臣の爲したる命令に違反したる者
三、第卅一條第一項の規定により準用せらるゝ第廿七條に規定により主管部大臣の爲したる命令に違反したる者
四、當該官吏の職務の執行を阻障しまたは尋問に對し答辯を爲さず若くは虚僞の陳述を爲したる者

第五十五條　特許を受けずして第四十二條に規定する事業を營みたる者は五千圓以下の罰金に處す

第五十六條　左の各號の一に該當する者は二千圓以下の罰金に處す
一、第十二條、第二十三條第一項または第三十二條第一項の規定に違反したるもの
二、第四十條または第四十四條第二項の規定に違反したる者
三、第四十條の規定に違反したる者
四、第三十三條の規定による制限、停止または禁止に違反したる者

第五十七條　左の各號の一に該當するものは五百圓以下の罰金に處す
一、第十條の規定に違反して航空機所有者の氏名々稱もしくは住所を表示せざる航空機を航空の用に供したる者または虚僞の氏名々稱もしくは住所を表示したる航空機を航空の用に供したる者
二、第十一條の規定に違反して堪航證明書または登錄證明書を備付けざる航空機を航空の用に供したる者
三、第十八條の規定に違反したる者
四、第廿四條の規定に違反したる者または第卅二條第二項の規定による認可を受けずして使用料の請求を爲したる者

第五十八條　使用人その他の從業員本人の業務に關し第五十一條第一號乃至第三號第五號若くは第七號、第五十二條第一項第一號若くは第二項、第五十三條第二號乃至第四號、第五十四號、第五十五條第一號、第三號若くは第四號またはその前條第一號、第二號若くは第四號の規定に觸るゝ行爲を爲したるときは該行爲者を罰するの外本人をも處罰す、但し本人心神喪失者または營業に關し成年者と同一の能力を有せざる未成年者なる時は其法定代理人を處罰す

第五十九條　法人の使用人その他の從業員法人の業務に關し前條の行爲をなしたるときは該行爲者を罰するのほか業務を執行する社員又は職員をも處罰す
法人の業務を執行する社員又は職員前條の行爲をなしたるときはその社員又は職員を處罰す

第六十條　第五十七條又は前條第一項の場合において本人若くは法定代理人又は社員若くは職員が當該違反行爲を防止する途なかりしことを證明したるときはこれを罰せず

第六十一條　左の各號の一に該當する者は二百圓以下の過料に處す
一、第六條第一項の規定に違反したる者
二、第八條第三項又は第九條第三項の規定による登錄の申請を怠りたる者
三、第九條第一項又は第二項の規定に依る堪航證明書又は登錄證明書の返付を怠りたる者
四、第二十一條第三項の規定に依る航空免狀の返付を怠りたる者
五、第四十四條第一項の規定に依る屆出を怠りたる者
法人前項第一號乃至第三號の一に該當するときはその業務を執行する社員又は職員を過料に處す

附則

第六十二條　本法は康德四年六月一日より之を施行す

第六十三條　本法施行の際正規の手續を經て現に航空の用に供する航空機に付ては第六條および第十一條の規定に拘らず本法施行の日より六月以内に限り仍從前の例に依る

第六十四條　本法施行の際正規の手續を經て現に航空機の運航に從事する者については第十六條の規定に拘らず本法施行の日より六月以内に限り仍從前の例による

第六十五條　本法施行の際正規の手續を經て現に航空機に着陸場として使用する場所については當分の内仍從前の例による

第六十六條　本法施行の際正規の手續を經て現に航空機による運送業その他の事業を營む者は從前の條件をもつて第四十二條の規定によ る特許を受けたるものと看做す

航空法制定理由
民間航空に對する統制方針ならびに飛行場地帶制限その他航空事業に關する公用特權を明にし航空事業の健全なる發展を策するとゝもに滿日航空條約締結の前提として航空に關する國内法制を完備するの必要あるに因る

社說

大陸政策の問題 再檢討から擧國的支持へ

一

[illegible]それは内外に重大緊急な[illegible]を惹起した。だが日本の發展を現在の機構の上に進めるには、大陸政策の遂行は不可缺の條件となつて、その間に幾多の困難があらうとも。それは克服されねばならぬのである

二

大陸政策の飛躍的遂行が開始されてから既に六年といふ年月を經た。この間に於いて世界情勢には著しい變化が行はれた。現在の世界政局の特徴は、帝國主義的對立が未曾有に激化してゐること、いはゆる「持たない國」が「持てる國」に對して著しく攻勢をとるに至つてゐることである。それにソ聯は大いに軍備と經濟的實力の擴大に努め以前に増す位置にのぼるに至つた。日獨協定や日伊間の取り極めが示唆するところ意味深いものがある。新しい情勢に向つては、日本はまた大陸政策そのものの態樣を適當に調整し改變してゆくことが必要である筈である

三

大陸政策の遂行に當つて、日本に於ける和衷協同が必要であることはいふまでもない。南京政權に對して取るべき態度について確固たる方針が樹てられてあるべきことは支那の事情を解するものにはわかつてゐるが、この問題につき當局の成算は出來てゐるであるか否かを問はねばならぬ現狀であるのは遺憾である。全支那に於いて日本國民及び日本商品の通商自由を保證すること、就中北支那に於ける政治的經濟的特殊地位を確保すること、これらの課題はどうなつてゐるのである。日本は更に大規模な經濟的飛躍を何れかの外國領土に展開する必要に迫られる。同時、支那が日本の事情に對して良い理解を持ち、その經濟的な行動に應ずるやう準備することが肝要である。大陸政策の再檢討、それとともに社會各層の利害の整調、これらはいまわれわれに課せられてゐる最も重要な問題である。社會各層の利害の整調、それが出來てこそ眞の擧國一致といふものが達成され得、政策遂行に必要な支持が得られるのである

廿八日から五日間 全國縣技士會議 產業滿洲國目指して

[illegible]

△五月廿九日(土)午前九時[illegible]調査に關する打合せ、農業基本調査に關する打合

△[illegible]畜産調査に關する打合せ勞働需給調査に關する打合午後農務司所管事務說明、協議事項

△五月卅日(日)午前十時、拓務省派遣移民團農事指導員平田靜人(第一次)遠藤六郎(第三次)矢口捷三(第二次)島飼元山崎定一(第四次)氏等を中心として日本農業移民に關する懇談會

△五月卅一日(月)午前九時農務司協議事項、午後林務司所管事項、林務司長所管事務說明、協議事項

△六月一日(火)午前九時縣技士事情報告及打合、午後縣技士事情報告及打合

呂實業相の訓示

縣技士會議における呂實業部大臣訓示大要左の如くである

私は最近政府部内の異動に伴ひ實業部大臣を拜命したが、前任民政部大臣時代より諸君とは極めて因緣の淺からざるものあるを感ずる わが國の經濟建設は建國以來友邦日本の協力により飛躍的な發展を示して居るが、建國後日なほ淺くまだ今後永年の歷史を持つ列強に伍して遜色なき自信を持つには既存國家に數倍する努力精神を要することは申すまでもない、就中產業の發展如何は直ちに國力の發展如何を意味する今日我々に課せられた使命の重且大なることを痛感する次第である この内外の情勢に鑑み今次の產業開發五ヶ年計畫は立案編成せられたのでありこれが實施の第一年度に際會する今日直接これが實施の衝に當る我々としては特に緊張戒心してそのスタートを切る覺悟を必要とする 特に產業行政においては中央の企畫に呼應し現地第一線においてこれが實施に當る機關が中央における企畫立案に重要なる示唆提案をなすと共に、一度決定されたる政策についてはよくその趣旨を體し、これが具體化に精進することは最も重要な點であり、中央地方完全なるチームワークをなす所に初めて產業行政の圓滑なる運用が期し得られるのである

私が平常行政事務の遂行に當り「人の和」をその第一要件として掲げてをるのも要するに以上のことを意味するものに外ならぬ 私は前任民政部大臣當時においても諸君の熟誠なる勤務振りについては豫て聞及んでをる所であるが、特に今日この重大なる時期において一層その使命を自覺せられ建國の大業にいそしまれんことを切望して止まぬ 一言新任の所感を述べ訓示に代へる

岸臨時產業調査局長訓示

たゞいま大臣閣下より御訓示あつた通り今年は產業開發五ヶ年計畫實施の第一年度に當り、我々當局者の心構へにおいても一段と緊張精進を要すべき時間に際會してゐる、臨時產業調査局は創設以來諸君の熱誠なる御協力を得て產業各般にわたり着々所期する基礎調査を遂行しつゝあるが、從來既に收穫した結果は、今次の產業五ヶ年計畫編成立案の貴重なる資料として充分に活用せられた しかしながら產業調査はたゞに計畫の立案編成に役立つのみならず、さらにこれが實施具體化に際しては產業五ヶ年計畫それぞれの部門に應じ各種の增殖改良に關する施設方策を企畫立案する素材として計畫の遂行に密接な關聯を持つものである、從つて今後においては諸君の御協力を俟つ必要はますます強くなるものと見なければならぬ、特に縣技士諸君も年々增員せられ、その他地方產業關係の職員は充員せられて來てをり、私共としても各般の調査はなるべく地方の事情に直接の接觸を持つ諸君の手によつて實施することを適當と考へてをり、可能なる範圍においては諸君の擔當範圍を擴大したいと考へてゐることは、この際特に私共として希望することは、各地方における諸般の中樞たるべき諸君におかれては、管內の調査補助機關に應じて何時でも直ちにこれを動員し得る如く準備し置かれることである。臨時產業調査局に於ては、以上の事情を特に考慮し、本年度の調査計畫を樹立して、今後刻々夫々擔當の職員より協議打合せを行ふことゝ思ふが、前述の如く調査の完全なる遂行は產業五ヶ年計畫實施の重要なる前提たることを充分御理解願つて會議に臨まれることを切望する次第である

建設局三氏より 陛下に御進講

鄭局長

只今より國都建設局所管の上水道建設經過に關しまするその概要を御進講申上げます 凡そ何れの都市建設におきましても、その計畫の執行に當りまして、最も重要なる問題となりまするのは上水道の建設で御座います、事變前における長春は水に惠まれぬ都市でありまして、滿鐵附屬地を除くの外給水施設として見るべきものがありませず、滿鐵附屬地におきましては極力水源擴張に努力致してをりましたが、種々の事情によりまして意の如くなりませず、一日僅かに三千立方米餘の給水を爲し得るに過ぎぬ有樣でありまして、時々斷水の憂目を見たので御座ゐます、斯る次第でありましたので、識者間に於きましては、新京は水饑饉にありまして到底大都市として發展し得ずと認むるものが尠くなかつたので御座ゐます

□從ひまして上水道の供給能否如何は必然國都の發展を左右する死活問題としてやかましく論議せられるに至りました 即ち大同元年三月、長春が國都新京と奠められました當時の人口は、約十二萬人でありまして、滿鐵附屬地に居住致しまする一部の者を除きまして其他大部分の市民は堀井戸によりまする極めて不衞生な水を使用致してをりましたので奠都と共に急激に增加しつゝある人口に對し、到底給水を全ふすることは不可能で御座ゐました 茲におきまして當局は第一次事業執行區域內に對し、まづ急施的水道施設をなし、給水を開始致しまする傍ら、國都の將來に對する綜合大水道計畫樹立の至難なる使命を課せられたのであります、よつて急施的水道施設と致しましては、極力水脈の探求につとめました結果、地下約百米附近に於て淸冽なる水層を發見致しまして、當時急場の需要に應ずることが出來たので御座ゐます

□新京の地下水は甚だ良好なる水質を有してをりますが、水量に限りが御座ゐまして、遺憾ながらこれを無制限に利用することは出來ませんので、飛躍的都市の發展に豫め備ふる必要上、相當の餘裕を有する大水源を求むることゝ致しまして研究の結果、本水源池を築造することゝなつた次第で御座ゐます 即ち康德元年四月末土堰堤築造工事に着手致しましたが、工程は滯りなく進捗致しまして昨年九月五日竣工式を擧行致しましたので御座ゐますが、この築造は約二年半の歲月と百三十六萬圓の工費とを要したので御座ゐます、尙創設以來今日までの間におきまして當局が上水道事業に投じましたる建設總工費は附帶事務費等を合し約九百萬圓の多額に上つて居ります、更に本年度は百四十萬圓の經費を計上致して居る次第でありまして、第一期五ヶ年計畫完結の際に於る投資額は一千萬圓を超ゆることゝなるのであります 本職の御進講は以上をもちまして終りと致します、引續き水道科長より一般水道施設に關しまして御進講申上げます

重任水道科長

この地圖は國都の平面圖で御座いまして、この部分が滿鐵附屬地、この部分が舊市街、この部分が奠都以來に新しく建設されました新市街で御座いまして、伊通河南から北に流れ、淨月潭貯水池はこの位置に當つて居ります 陛下には皇居を御發あらせられまして、朝日通、大經路、水道專用道路、林國道、伊通國道を經させられまして、到着せられたのでこの水源地事務所に御座います 本貯水池はこの伊通河の支流小河台河と申します小流に沿へる腰站と申しまする村落の下流一キロにありまする狹い山峽において締切りまして雨水を貯溜するもので御座います この土堰堤は粘土を轉壓機をもつて締め固めまして築造せるもので御座います 長さ五五五米、高さ一九米でありまして、貯水池の滿水時面積は四・三平方粁、周圍は約二六粁で御座います、本貯水池に集りまする水はこの山嶽の包みまする盆地一帶、七八平方粁の面積より流れ落ちて來る雨で御座います、この地域には多數の部落が御座いますが、池に近接する部分は住民の居住その他地上の故障物、汚物等悉くを取片付けまして飲料水にとつて最も處理困難なるアムモニアその他の不純物の混入を極力排除致したるもので御座います 池の深さは最深一六米に及び貯水量は約二千六百萬立方米に達します、そして一日四萬立方米を給水し得ることゝなるのであります、滿水面以上に水が流れ込みまする場合は、此處に設けてありまする流水路により放流致しますから、どんなに雨が降りしきりましても堤防を氾濫するといふおそれは絕對に御座いません 滿水面における標高は海拔二三四米で御座いますから南嶺より二〇米高う御座います 從ひまして、この水は自然流下によりまして、この取水塔より直徑七〇〇粍の高級鑄鐵管を通り、こゝより一二粁離れました南嶺の淨水場に達します、こゝで沈澄、濾過、鹽素滅菌等の淨水作業を行ひまするとさしもに濁つてをりまする水も凡そ三時間の後には淸淨なる上水と化しまして容量五千立方米の貯水池に貯へられます それより更に三臺の喞筒によりまして南新京驛前の給水槽に送り込まれるのであります この給水槽は容量一、二〇〇立方米を有してをりまして最高水面までの高さは三五米でありますが、水槽は二重壁でありまして、塔の內部には煖房設備を施してありますから、嚴寒におきましても最低溫度攝氏五度を下らないやうにして御座います これより全市に一齊に配水致すので御座います、當局水道は建設區域內に掘鑿せる深井戸より取水致しまする地下水と、本貯水池より取水致しまするが、本貯水池よりの水量四萬立方米と井戸取水によりまする水量一萬立方米とを合しまして國都建設局一日の給水能力は五萬立方米に上ります、この外滿鐵附屬地水道における井戸水二千立方米を合せまするとき、新京が有しまする水源能力は總計一日六萬二千立方米に上るのであります、この水量は人口五十萬人を裕に養つて餘りあるものと存じます 現在新京の總人口は約卅一萬人と稱せられてをります、この人口が一日に必要と致しまする上水の分量は約三萬立方米あれば宜しいのでありますが、現在の設備におきましては國都建設局、滿鐵附屬地、特別市を合せまして一日三萬五千立方米を有してをります 若し將來人口百萬に及びまして、さらに多量の水を必要と致しまする曉におきましても新京の東方約四〇粁の所を北流します第二松花江の支流、飲馬河より無限の水量を利用することも出來るので御座いまして、國都における給水に對しましては何等の不安がないので御座います 本職の御進講は以上をもちまして終りと致します、引續き技術處長兼總務處長より地質及び古跡に關しまして御進講申上げます

近藤技術處長

本貯水池の地質は、周圍の丘陵地帶は水成岩および火成岩より成り、河谷は沖積層より成つて居りまして貯水池の築造には極めて都合のよいもので御座います、この流域を成します盆地一帶は將來政府に於て全部買收の豫定でありますが、現在に於きましては當局が水源用地として直接必要なる池およびその周圍の土地一一平方粁を買收致しました、その中には腰站を初めと致しまする約十二個の部落を含んで居ります、これ等の部落は戶數七〇三戶、住民三、九〇〇人ありましたが、全部當局が買收並補償を致しまして移轉をさせたので御座ゐます、現在湖底に當りまする部分の戶數は約二一五戶住民一二四〇人位でありました、移轉を命ぜられました住民は現在この分水嶺の內外に作りまして前の如く農業に從事致して平和なる生活を營んで居ります この舊双陽街道も最早や水沒致して居りまするが、その長さ約一〇粁に及んで居ります この廢道に代るべき國道と致しまして此處より(地圖指示)西南側の丘陵線に新道を造り香嶺口子において舊道と連絡せしめて居りますが、新道は舊道の如く雨期交通杜絕等の障害もなく、距離も幾分短縮されまして却つて便利に成つて居ります、本貯水池の大きさは臺灣の日月潭よりもやゝ大きくありますが、周圍一帶は更に多數の樹木を植え込みまして水源の涵養を圖りますと共に新京市民の保健、行樂にも資したいと種々計畫中で御座ゐます、特に實業部に於きましても可なり遠大なる計畫の下に本造林並に遊覽道路の建設に着手致して居りますから年と共に益々本貯水池一帶の風致は深まつて行くものと考へて居ります、この地域には各種類の樹木、花卉が原生致して居りまして四季の風情を豐かに致して居ります、池にも鯉、鮒、鯰、鰻等の魚類が多數棲息致して居ります、當局におきましては本年六月以降、更に多數の魚をこの池に放育する豫定で御座ゐます 本貯水池は單に水源、保健として有效で有りますのみならず、又軍事上に於きましても重大なる役目を有つて居るのであります、昨年の夏、日本海軍の飛行機が試驗的にこの池に着水致したことが御座ゐますが、萬一の場合には直ちに海軍航空根據地として役に立つのではないかと思ふのであります、序でに本貯水池に關係のある古跡に就きまして一言申上げたいと存じます、この所は(地圖指示)小高い丘で御座いまして、この貯水塔より東南四粁の地點に當りますが、現在國都建設局に於きましてはこれに古臺と命名致して居ります この丘には等身大の人體石像二基と虎および羊の動物石像各々二基づつ、計六基の古い石像遺物が雜草中に散在して居ります、この石像は、この地方にては得られない花崗岩を材料として居りまして永年風雨に晒され石像の突起部分は磨滅せる箇所もあり、古色蒼然たるものが御座ゐます、この古墳の起源に關しましては未だ明白なる考證を得ませんが、附近住民の語る所を綜合致しまするに今より約八百年前、高麗王が兵を率ゐて來征し參りましたが、雄圖空しくこの地に陣歿致しましたのでそれでこの丘に葬り祭つたものと申すことで御座ゐます これが考證に就きましては更に詳細なる研究を致す豫定でありますが 當局に於きましてはこの古跡を風致良く補修いたしまして永く市民の參考に資すべく保存いたしたいと思つてをります なほこの山の麓の丘に當局の警備員の宿舍ならびに防禦用砂嚢が殘存致して居りますが、これは工事中頻々と襲はれました匪賊の襲擊に備へたものでありまして警備を嚴に致しましたために匪賊の意志を挫折致させまして、幸ひに大なる被害も蒙らずに豫定通りに竣工するを得た次第で御座ゐます なほ當局におきましては本貯水池の約十分の一の水量を有します南嶺の西麓黃龍公園に築造中でありまして本年七月には竣工の豫定で御座ゐますから、本貯水池と相俟ちまして益々市民に潤ひを與へるものと信じて居ります 以上をもちまして本職の御進講は終りと致します

滿洲國行政機構の改革に就いて (下)

國務院總務廳長 星野直樹

滿洲國國務院總務廳長星野直樹氏は、廿三日午後零時五十分新京放送局より「滿洲國行政機構改革に就て」と題し左の如き講演放送を行つた

□第三に省長以下地方官廳はこれを國務總理大臣の直屬機關といたしたのであります、從來地方官廳および地方團體は民政部の管理するところでありましたが、今日滿洲國の現狀としては經濟文化方面の活動が愈々重きを占むるに至りましたので、この際中央政府の方針が厚薄なく地方に反映し、而して省が中央と有機的一體となつて行政を行ふために、これを總理直屬の制度に改め、各部はその主管の事務に從つてこれを指導監督することに改めたのであります

□第四には蒙政部を廢し國務總理大臣のもとに興安局を置くことに致したのであります、蓋し蒙古地方の行政については、建國以來興安總署蒙政部等を設け蒙古に關しては諸般の政治を特別の部をもつて處理して參つたのでありますが、然しながら建國すでに五年、庶政著しく改善を加へられたのでありますから、今後は蒙古人も日滿人と同樣に滿洲國政治行政の全體に參劃し眞に五族協和の實を擧げると共に、蒙古地帶の民生振興、產業文化の向上に付ては國家全體の力をもつて、これに當るの主旨であります、只蒙古民族の特別の慣習を尊重しこれを育成するを基礎として民政の振興を計るために、地方に於ける特異性は出來得る限りこれを認めること勿論でありますが、更に國務總理大臣の高級の輔佐機關として興安局を設け、その總裁は國務院會議に列せしめもつて國政全體が蒙地蒙旗等に關し適實中正に行はれんことを期したのであります

□以上の如き變革に伴ひ文教部と從來の民政部のうち衞生及社會に關する部局とを合して新たに民生部を作り、これによつて學校教育、公民教育、社會事業、國民保健等主として民生の振興を任務とする官廳を統合強化し、有機的一體となつて國民生活の向上振興を期することゝしたのであります

□又經濟產業を所管する部局につきましては產業五ヶ年計畫の實行を目途として、これを根本的に再組織し、即ち產業五ヶ年計畫の根幹をなす農業鑛業の調整指導についてはこれを產業部に統合し、而して從來の實業部の部局中商務に關するものはこれを經濟部に置き、もつて專ら事急事業農工業の開發に從事せんとするの體勢を整へたのであります

□又交通に關しては從來各部局に分屬せしものをも統合して交通部に一括し、道路、郵便、航海空、鐵路の全般に亘り有機的に交通事業の發展を期せしむることゝ致しました

□また金融商務貿易稅務を一部局の下に置き新に統合せる形態において有力なる流通經濟の指導監督を行ひもつて民生の振興、產業の開發が圓滿順調に實現せらるゝことを期することゝ致したのであります 從つて國務院各部は從前九部であつたものが以上の五部と司法部を加へたる六部となり なほその連絡統制を有效適當ならしむる爲に總務廳に企畫會議を設くることゝ致しました、斯くて各部はそれぞれ強力なる一體として明確なる目標の下に自己の本分に精進すると共に總務處を中心として有機的一體となり滿洲帝國發展の聖業に邁進せんとするものであります

□なほ從來國務院より獨立して居つた監察院の制度を改めて國務院內に審計局と監察官室とを設け、一方時務に速應し、直ちに行政事務に反映してその結果を各官廳が自省自戒常に清澄なる行政を行はんことを期することゝ致しました なほ各部局內の構成改革については、これを申上ぐることを省略致しますがその要旨とするところは前に述べました如く出來得る限り各民族が各々その能に應じ力に適したる事務に當り、一部の獨善的傾向を清算し全員一致有機的一體となつて行政の執行に當り、以て四千萬國民に對し官場自ら眞の五族協和の模範となることを期し、これを目標としてこれに適應するが如きことを眼目と致してをるのであります

□以上が大體この度の行政機構改正の要旨眼目であるが、最後に一言申上げたいことは元來制度は死物であつてその活用は人にあるのであります、すなはち制度によつて直ちに庶政の改革自體によることは不可能であります、しかしながら內外の新情勢に應じ國民國力を總動員して回天の大業を行はんとするに當つては政治の局に當るものとして先づ自ら省み戒めその政治行政の機構全體について檢討しこれを最も時務に適しまた圖素強力なるもの爲すためには難きを忍んでその改革を斷行せんとすることが必要であります、この氣魄をもつて始めて一般國民を率ゐる國家庶政一新の大業に當ることが出來ると思ひます

□この度滿洲國政府が政治行政機構の改正を斷行せんとするの最後の眼目は實にこゝにあるのであります、幸に滿洲四千萬の國民各位ならびに滿洲國の育成援助のために終始渝らず熱誠に身心をあげて援助努力せらるゝ日本帝國朝野の方々がこの滿洲政府の心持に對し充分なる御理解を賜り、好意と同情とをもつて本改革の趣旨の達成を助けられさらに滿洲國の成長發展のために御協力下さらん事を御願ひ致しまして私の講演を終ります

共立醫院庶務長

林西醫院庶務長上原朝次氏は新京共立醫院庶務長に任命された

商況欄 (五月二十八日)後場

●上海標金 前引 一、一三三、二
●上海爲替 日本向 第一回賣買 一〇四、八七五 一〇五、一二五
倫敦向 第一回賣買 一志二片一八分 一六分五
紐育向 第一回賣買 二九弗一六分三 八分七

株式相場

大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品	三、七〇	—
豆新	一三三、九〇	—
東新	五九、五〇	—
滿鐵	四八、二〇	—
同新	七九、九〇	—
日産	二七一、二〇	—
鐘新	—	—
奉天株式	—	—

新京取引所株式(短期)

銘柄	寄	引
滿取	一三、七〇	—
東新	一三三、四〇	一三三、五〇
日産	八〇、〇〇	八〇、三〇
鐘新	二七二、五〇	二七四、〇〇
五品	一六、六〇	—
豆新	一二、八〇	—
滿鐵	五九、五〇	—
同新	四八、五〇	—
電甲	三一、五〇	—
滿毛	[illegible]	—
日畜	二四、四〇	—

新京取引市況 (五月二十八日後場)

現物(一石ニ付段) 寄 引 出來高

品名	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	—	—	—
米粱	—	—	—
吉豆	—	—	—
小豆	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—
五月限	六、三九	六、三七	五七車
六月限	六、四四	六、四四	一三車
高粱 四月限	—	—	—
五月限	三、三三	—	一車
六月限	三、四五	—	四車
七月限	—	—	—

手形交換高 (二十八日)

[illegible] 六六八、四七七、二〇[illegible]

鮮魚小賣相場

品名	最高	最低
活鯛	[illegible]	[illegible]
氷鯛	[illegible]	[illegible]
中小鯛	[illegible]	[illegible]
チコダイ	[illegible]	[illegible]
チヌ鯛	[illegible]	[illegible]
アマ鯛	[illegible]	[illegible]
イセエビ	[illegible]	[illegible]
エビ	[illegible]	[illegible]
車エビ	[illegible]	[illegible]
ブリ	[illegible]	[illegible]
ヒラマサ	[illegible]	[illegible]
マナ	[illegible]	[illegible]
サワラ	[illegible]	[illegible]
スズキ	[illegible]	[illegible]
ニベ	[illegible]	[illegible]
アジ	[illegible]	[illegible]
サバ	[illegible]	[illegible]
赤ツ	[illegible]	[illegible]
アムウ	[illegible]	[illegible]
メバル	[illegible]	[illegible]
アブラメ	[illegible]	[illegible]
鰡	[illegible]	[illegible]
タコ	[illegible]	[illegible]
水蛸	[illegible]	[illegible]
飯蛸	[illegible]	[illegible]
紋甲イカ	[illegible]	[illegible]
甲イカ	[illegible]	[illegible]
小イカ	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]
カレイ	[illegible]	[illegible]
星カレイ	[illegible]	[illegible]
目高カレイ	[illegible]	[illegible]
連長	[illegible]	[illegible]
カナガシラ	[illegible]	[illegible]
ロシ	[illegible]	[illegible]
コチ	[illegible]	[illegible]
オコゼ	[illegible]	[illegible]
キス	[illegible]	[illegible]
サヨリ	[illegible]	[illegible]
アナゴ	[illegible]	[illegible]
白魚	[illegible]	[illegible]
鮑	[illegible]	[illegible]
カキ	[illegible]	[illegible]
帆立貝身	[illegible]	[illegible]
赤貝	[illegible]	[illegible]
蜆貝	[illegible]	[illegible]
ムキミ	[illegible]	[illegible]
蛤	[illegible]	[illegible]
カニ	[illegible]	[illegible]
オバ	[illegible]	[illegible]
カマボコ	[illegible]	[illegible]
焼木	[illegible]	[illegible]
ブリ	[illegible]	[illegible]
ヒラス	[illegible]	[illegible]
サワラ	[illegible]	[illegible]
ニベ	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]

天氣

けふの天氣 西の風晴一時[illegible]

日の出 前 五時[illegible]
日の入 後 八時[illegible]
月の出 後 十一時[illegible]
月の入 前 八時[illegible]
きのふ 最高 二[illegible]
氣溫 最低 九[illegible]

ハイキング案内（二）
綠風の淨月潭と近郊の四行樂コース

〇寛城子附近の二コース

◇Aコース＝家族づれの樂なコース

バス五號線兵營前寛城子、誠忠碑、寛城子の町、露人墓地（一粁半）―農安街道無電台（三粁）―バスのりば（三粁）

兵營前でバスを降り寛城子の誠忠碑を弔ひ新たなる戰跡に感激、露人の墓地の十字架にロシア帝政はなやかなりし昔の夢の跡を忍びつゝ農安街道から無電台に廻る

◇Bコース＝寛城子バス終點―寛城子の町、露人墓地、寛城子驛―寛城子戰跡―安屯春日町（鐵道北）バス九號線のりばと四粁のコース

寛城子終點でバスを降りその昔はなやかなりし頃の寛城子をしのびつゝ露人墓地から寛城子驛へと一廻り戰跡に眠る勇士の靈を弔ひ安屯から春日町へと出る

〇競馬場附近のコース＝家族連れのピクニック

陸軍病院バス終點―大房身―競馬場（約三粁）

バス四號線陸軍病院終點より双城堡街道へ力行廣場から右へ行くこと三、四百米大房身に村田遺遥園の大農園がある植樹地域約三萬坪樹種二百種を越え特に將來櫻の名所たるべく數千本の櫻あり今春すでに數百本は花がつき都人一日の清遊を待つて居る、その規模を誇る溫室には熱、溫、寒各帯の花卉二六時中絢爛と咲き亂れてゐる村田園主は目下これに通ずる專用道路を工事中でゆく〳〵は附近に三萬坪位な池をつくり遊覽に供する計畫もあると聞く、農園の傍らで廣漠たる平原を前に團欒近くの沼地で芹でも摘み競馬場を廻つてかへるピクニックコース

……

金錢堡＝バス九號線東廣場停留所より約四粁、バス十號東站終點より約四粁

伊通河西側に位した此地一帯は沼澤に富み釣魚の絕好地その他芹とか薹等の摘草にも適してゐる

……

〇淨月潭貯水池＝新京より約二十粁、バス四十分徒歩三時間

築堤下でバスを降りて堤上に登れば一望滿々たる水それを巡る綠の丘の中腹にある散策道を行けば湖面より吹き寄せる初夏の微風が嫩葉の香をもたらし四季とり〴〵の花も野禽のさへずりも街の騒音につかれた都人士にとつては懷しい別天地である特に五、六月頃の鈴蘭、蕨を摘む一日は尖つた神經への一服の淸涼劑である日曜、祭日毎にバス會社では驛前より定期バスを運行してゐる（料金は往復大人一圓五十錢、小人半額、驛前發午前十時、歸途淨月潭發車午後三時）

……

石碑嶺コース＝吉林街道南關より十二粁健脚ハイカー向の絕好のコース徒歩で三時間

吉林街道バス十一號線終點を降りて街道を爽々とハイキング、石碑嶺は八百年前からあるといふ金の創業の功臣完顏婁室の古墳があり現在も碑文の龜趺がなほ遺つて居り、附近からは石器時代の遺物石斧石が採集せられる、今は休鑛中だが石碑嶺炭鑛がある、國都の建設用バラスの大部分はこの附近の山から送り出されるのである（寫眞は水郷淨月潭）

全滿州外中等學校聯合武道大會
愈よあす京商・西廣場で開催
制覇賭けて堂々挑戰

全滿中等學校健兒の血を湧かす州外全滿中等學校聯合武道大會の第十一回目が來る三十日新京に於て華々しく開かれることになり組合せその他左の如く決定した

參加校は昨年の優勝校新京商業（柔道）奉天中學（劍道）を始め全滿に名ある鞍山、撫順、安東、新京各中學、撫順工業、本溪湖工業等で當日は午前九時新京商業講堂で入場式を行ひ、のち柔道は新京商業講堂で劍道は西廣場小學校で擧行されるが全滿を通じて唯一の中等學校武道爭覇戰で例年奉天に於て擧行されたものである

【試合方法】（一校選手十名宛）

甲組（大正八年四月一日以後出生のもの）柔劍道共東西に分け四校の間でリーグ戰を行ひ各組の等級順位に依り一、二、三、四を決定し東西各々の一と一、二と二三と三、四と四が試合して順位を決定す劍道甲組東軍―新京商業、奉天中學、撫順工業、安東中學、西軍―本溪湖工業、鞍山中學、新京中學、撫順中學

柔道甲組東軍―新京中學、奉天中學、撫順中學、鞍山中學、柔道甲組西軍―新京商業、本溪湖工業、撫順中學、安東中學

乙組（大正十年四月一日以後出生のもの即ち三年生以下）柔劍道共本溪湖工業の不參加に依り七校でリーグ戰を行ふ

【採點法】參加校は甲の場合に順ず一等五十點以下各等毎に五點づゝたる甲乙合計點多き校を優勝校とす

【勝負法】勝者を一點とす、同點の場合は劍道にては「小圓」柔道は「拔有り」の數多き方を勝とし、尙同點の場合は相手校との勝星の數多き方を勝とす

同點の場合は該校相互の甲乙各組試合の成績の勝星合計による尙決せざる場合は相互の甲組乙組の「小圓」又は「拔有り」の數による尙決せざる場合は甲乙供再試合を行ふ

若し該校相互の試合せざる場合は試合せざりし組のため相互の試合を行ふ

【出場選手】

● 劍道 ●

撫中（甲）先坂口忠2秦南無雄3上出富彌4隅田弘5白石直文6深川淸7宮澤茂8吉田幸治、副將白岩政光、大將大久保萬太郎、補伊東新平、補大江法海

撫中（乙）先和田澄2吉田正之3荻堅榮一4蒲原稔5桐生菊作6中島一秀7末永誠8松尾良夫、副將西義弘、大將五十嵐浩、補兒玉次郎、補豐田健一

新中（甲）先佐藤一郎2木村茂夫3岡田實4山内久男5根占正嘉6落道喜素一7崎山平良8中宮榮吉、副將小松國則、大將坂本行弘、補池田正、補福場常行

新中（乙）先韓卓治2丸山崇3工藤文淸4平岩不二男5鴨田保喜6井上一男7武内節8面高春男、副將米田健次、大將上田一男、補工藤徹夫、補平井徹

安中（甲）先益田德雄2寺尾健二郎3今村寛4澤之夫5西澤日出男6久富幸雄7前田豐8五十嵐修、副將齋藤啓一、大將吉本禎助、補伊藤保、補竹内德雄

安中（乙）先全君喆2李健一3中村忠彦4萩尾一雄5吉用守6渡邊彌太郎7荒木重雄8湊安衛、副將南須原耕二、大將加藤正安、補福山旭、補甲賀遜

鞍中（甲）先蓮尾雅治2西村滿喜3吉田圭治4折戸伊三郎5田村十四雄6新郷正實7福永邦敏8林博義、副將鎌田武雄、大將鶴田久滿、補松永賢、補

鞍中（乙）先中原健吾2堀川忠雄3林政義4丹羽民應5伊藤功6中里正勝7坂泰凱8柴崎覺、副將勝目邦義、大將堀川哲雄、補渡部八十行

奉一中（甲）先板橋康夫2安倍正春3伊藤正茂4太田直之5舟木旦6豬塚俊夫7伊藤毅8山本博司、副將半澤義雄、大將下畝榮一郎、補森崎晃、補藤田芳夫

奉一中（乙）先小泉豪造2上根正之3山田義德4廣岡重彦5中村泰雄6斧田正隆7加瀨稔一8財部滿彥、副將佐々木酒造男、大將石川博、補東堅靖允、補石川良明

本溪工（甲）先山田司2立花滿男3合田口豐一4平松直彥5莊司達夫6高橋芳彥7小林輝嘉8引原八郎、副將前田源吾、大將小川武、補河田禳、補杉堅國光

撫工（甲）先沖淸澄2中島新治3今村武久4中村榮利5山下泉6勝目滿安7濱田善一8上田和夫、副將米田一雄、補駄池田友吉、補丸山德助、補緒方質二

撫工（乙）先紙村行雄2坂根好晴3成田淸4島田松男5坂梨虎生6下村豐7味方重憲8川原肇、副將大島國彥、大將倉員淸之、補佐藤幸雄、補高橋光衛

● 柔道 ●

京商（甲）先持苗正秋2吉田敏男3植村治朗4淸島孝男5佐藤聖6秋山碩夫7生駒治民8篠崎政義、副將酒井弘之、大將星直人、補佐藤[illegible]郎、補坂下圭介

京商（乙）先渡邊洪2井手弘3安田善次郎4原田孝備5國本力6小笠原禳三7久玉忠雄8富田勇、副將藤井肇、大將内山博八、補山形浩平、補松本勝治

廣商（甲）先上薗勝2君山守正3隈淸人4山縣泰夫5佐藤吾郎6梶山忠7安西司郎8森山幡泰治、副將西村俊行、大將木[illegible]四郎、補滅口淸吉、補江口

京商（乙）先寛博2諫山弘則3諸隈格4佐岡敏克5堀池弘6福永佳夫7田中憲市8吉川武則、副將山崎邦夫、大將次村文雄、補岡竹健市、補花田益夫

安中（甲）先菊地正男2富樫和威3原田光次4西川淸志5水島利嘉男6宮本正7桑田義人8向後一太郎、副將濱岡重利、大將佐藤靜弘、補原内進、補原義雄

安中（乙）先矢野惠2富村享3竹内文彌4大留俊二5笹内政明6濱池渥美7加勢英一8豐澤仁一、副將池田二三夫、大將河合昌雄、補小山杲、補川端論

鞍中（甲）先北川良平2堀江宏3小人重章4梅澤正紀5柴田治夫6趙吉龍7米滿敏數8上田義輝、副將田邊亨、大將山野富生、補安樂德行、補

鞍中（乙）先菏田光義2平方國雄3上田自大4吉村正巳5高松守彥6成淸重[illegible]7山本實8池田正木、副將梅田武敏、大將平田久雄、補菊地二郎

奉一中（甲）先坂元淸2節豆昌輝3釜崎保4竹安茂5磯崎正6柴田美澄7佐藤忠8原山一郎、副將美景的、大將高堅信行、補堀之内貞久、補今西功

奉一中（乙）先山田正美2湯治篤歲3加納滿雄4藤田哲郎5尾野氏三郎6長谷川正男7大平雄助8福島武、副將河堅明私、大將埜澤鐵夫、補有馬忠夫、補中堅高治

新中（甲）先森永倉夫2滿田裕三3秋山鑛一男4武井光5田中禳6仁平浩一7塚本忠行8赤穗光男、副將葉若政治、大將岡本曙生、補田中剛、補塗谷弘道

新中（乙）先河野武邦、2康鼎九3坤堅貫4濱崎正見5松本茂6井口正司7齋藤健8石田立誠、副將西村繁、大將横山治雄、補中尾正名、補松本康夫

撫中（甲）先田邊邦宏2宮崎重直3吉村俊一4豐永權二5高橋勤6松尾佳乃7澤田卓治8玉沖滿男、副將野呂一夫、大將勝木勝男、補酒井勉、補但野義男

撫中（乙）先崎山來2許正道3李宗澤4宮内大雄5橋口勇一6新郷鐵藏7竹島克二8後藤登、副將笹二郎、大將富山孝治、補渡部章、補三ヶ尻芽一

撫工（甲）先森岡孝夫2小山田光明3鳥居輝彥4坂井一5中田稔6井上利實7岳本三千穗8中村榮隆、副將河堅直年、大將篠崎康元、補原田尙比古、補加藤敏夫

撫工（乙）先大橋進2井上政雄3永井敏弘4蛇原武吉5原田享6宮原繁夫7三富正雄8宮岸潔、副將内藤幸男、大將安樂信、補檀上博、▲淺見八郎

本溪工（甲）先上野孝一、2矢野春二3岩崎譽士夫4瀨川隆重5佐々木順三6岡村保夫7澤田稔8松倉政雄、副將出雲修一、大將山田武雄、補高橋文雄、補安藤甬男

讀者の領分

中傷不可　投稿歡迎

一つの不滿
白菊小學生の大屯娘々祭見學遠足に就て

一、何事によらず子供の智識向上を計る意味に於て大屯娘々祭を見學せしめし事善哉〳〵

一、然れども是を引率せられし諸先生中滿洲に於ける娘々祭なるものゝ謂れに就て其の歷史的事實を知らるゝ先生果して幾人かある

一、却て大屯娘々祭視察は第二段として吾人をして言はしむれば折角大屯迄遠足しながら何故彼の有名なる日露戰爭に於て拔群の功ありし永沼挺身隊の碑を訪れなかつたのか

一、仄聞するに引率者たる某先生は然も其の名譽の墓碑の傍らに於て生徒の中食を取られながら遂に其の碑をすら訪はざりしとか

一、顧みれば今を去る三十有餘年前奉天大會戰の直前永沼部隊一同の將士は身を挺して自ら其の危險を豫期しながら一意奉國の精神に燃へつゝ其の作業たる危險極りなき當時の東支鐵道の鐵橋爆破を敢行して彼等露國大軍の南下を防止せる功績や又威大なりと云ふ可し

一、若し當時彼の危險作業の實行が萬一水泡に期せんか日本帝國は果して今日の偉大さを勝ち得たか如何之を思ふ時吾人は轉た戰慄せざる可らざる感を禁じ得ないのである

一、心ある新京人士は年々最々幾多の英靈を葬ふ爲め奉天會戰記念日前後をトして臨時列車迄も增發して之を訪ひつゝあるにも不拘身教育者として生徒と共に其の場所に遠足しながら遂に有名なる史跡も尋ねざりしとは是如何に！

一、其の責任や奈邊にありや？此遠足を許せし校長も將亦引率者たる先生の意思や是れ如何！要するに滿洲に於ける文教の府を以て任ずる滿鐵學務部の掌に當る諸先輩各位が内地より小學校教師を新規採用するに當り尤も必要なる要素たる實力の如何を度外視して徒に永き慣習の弊として芋蔓的に之が採用を行ひ來れる干係上前述の如き認識不足の輩採用せざる可らざるに至れるならん

一、云ふ迄もなく善良有識の士を將來に得る事は即ち初等教育の完成如何が重大なる役割を爲す事は言を俟ざる處で國家建設が最も重要なる一要素であらねばならぬ

一、現在滿鐵社員の採用狀況を見るに獨り第一線に活躍する將來の中堅人物たる有爲有能の士は將に天下に號して凡有る學校より嚴選採用されつゝありと雖も其の他附帶事業たる病院學校職員の智能に至りては聊か首肯せしめらるる事と同時に止むなく是に師事せざるべからざる中小學校生徒の現況果して如何

一、殊に今日滿洲事情に對し何等認識なき輩の採用に於てをや

一、國民教育の眞髓は云ふ迄もなく小學校兒童の教育の掌に當る諸先生各位の責任に存する事は言を俟たざる處なり

一、重ねて滿鐵幹部各位の御考慮を煩す次第である（夢蘆生）

運動
排球の練習をはじめる方に（五）
M・S生

得點（續き）

9、競技者が他の競技者或は物體の力を得て地上より身體を離れしめてボールをプレイする事は出來ない

10、ダブルファアル　兩方の競技者が同時に反則を犯した場合にはカウントはしない

11、コート外よりコーチを受ける事　競技中にボールをアウトであるとかセーフであるとか競技中以外の者が競技者に知らしめる事は反則とされる

12、ボールをプレーする以外の目的でレフリーの許可なくコートを出る事はいけません

13、オーバー・タイム　三回目のパスで相手方コートに返さねばならないが但しネット・ボールの場合に限り四回迄許される

14、不當なる競技者の交代　チームの處で述べて置きました

タイム・アウト

1、競技者の交代の爲のタイム・アウト　主審、副審の吹笛のある迄はインプレイである事を忘れない樣に、主將より審判に對してタイムを要求し審判の吹笛があつて一分間の中に交代し得る

2、セット間のタイム・アウト　一チームの主將の要求で三分間以内のタイム・アウトを得られる

記錄

最初に二十一點を得たチームが勝となる、但し兩チームが各二十點と成つた場合は二點勝越したチームの勝となる

試合沒收

1、レフリーよりプレーをする樣に命ぜられたにも拘らずこれを拒みたるチームは試合を沒收されて相手チームの勝となる

2、試合開始時間を過ぎる事十五分にしてなほ參集しないチームは試合を沒收せられる。

3、九名に足らないチーム（前述した）

審判員

レフリー一名、アンパイヤー一名、ラインズマン四名、スコアラー一名が正式である

1、レフリー（主審）ゲームの最高役員でインプレイがデットか得點かサイド・アウトであるかを判定し總べての反則を判定する

2、アンパイア（副審）レフリーを補佐して反則を判定するが最後の判定はレフリーがする

3、スコアラー（記錄係）選手交代の許可等をするタイムアウトの正式計時競技の得點其の他の公式記錄監督、主將競技者のサーブオーダー誤りなきや否やに關してラインズマンを補佐す。

4、ラインズマン　四名の場合は四隅に位置し二名の場合にはサイドラインの一端に兩コートに分れて位置する　エンド・ライン、サイドライン、近くに落ちたボールのアウトかセーフかを宣する、兩ラインズ・マンの見解が一致しない場合はレフリーが決す　サーヴィングオーダーを監視しなければなりません

以上簡單に書下して來ましたが專門的排球競技に就いては次の機會に致しまして排球のアウトラインを書いて稿を終りに致します（終）

復興の興京縣に穴居生活を視る（三）
奉天　大西生

興京縣復興策を聽く

三日間にわたり慘憺たる窮民の穴居生活と復興の勢旺盛なる集團部落とを具さに視察した竹内總務廳長はこの間にあつて日夜寢食を忘れて奮鬪を續けつゝある日滿官憲當局者より隔意なき意見を聽取するため同夜復興京館に座談會を開いた集る者数縣長、富森參事官、劉内務局長、尙財務局長、河野指導官、沼口副參事官、田村協和會事務長をはじめ興京縣復興委員會の面々であつて興京復興のために熱誠を披瀝するのであつた、何れこれは復興五ヶ年計畫として立案されるものであるが、大體において

一、已に治安の肅淸をみたのであるから可耕地は出來る丈け耕作し、作物を栽培し民力を濫成しなければ不可だが縣内に勞働能力缺乏し役畜不足してをるのでこれが補充を急務とする、これには耕作用役畜四千頭を他縣より買入れ縣民に貸與し、また青年層を數隊組織し青年團を組織し村長の指揮の下に置き耕作に從事せしめる

二、人心を安定して永住性を涵養すること、從來興京縣居住民は匪禍に苦しめられて居るから永住性なく鮮人滿人ともに數年ならずして他縣に移動して行くので人心を安定して永住せしめ愛鄕心を養成しなければならぬ

三、村力を養成すること

四、官民の融合を計ること

五、治水のため森林伐採を禁止し植林しなければならぬ

六、金融機關を設置すること

七、鑛山の調査開發

等について述べたその熱心さ眞劍さは全く敬服の外なく今日興京縣において活動してゐる日系官吏が縣民から神の如く敬慕されて居るのも當然だと思つた、また滿系官吏も自ら縣内を巡視して民情を視察し、善政の施行に苦心してゐる有樣が窺はれ頼もしかつた

十九日は早朝より松原部隊、縣立男女子各中學校、街公署等を視察し整備され行く行政教育の狀態を見聞し、歸路國道を傳つて永陵街を過ぎ清朝發祥の地、老城を左に見て清朝の祖宗を祀る永陵に詣で清朝興隆の昔を偲んだ、この地一帶は山岳起伏し、渾河の溪流蘇子河が横はり、風光明美觀光の地として優なるものである、また鶴、雉、鷺を始め狐、猪、兎等の獵場として多はスキー場にも適し、奉吉線南雜木よりの國道を利用し遊ぶには極めて面白く將來必ずや觀光地として還宗されることゝ思はれる

むすび

上述の如く興京縣は奉天省管内において最後まで殘された治安不良の縣であつたが、昨年の徹底的肅淸工作によつて治安はすでに快復し、今や復興の一路を辿ることゝなつたしかし家は燒かれ、食はなく耕作するに農具なく、牛馬なく、人力なき狀態で復興には相當長年月を要するものと豫想され、これには自力更生のみに待たず他方よりも出來る丈の救助の手をさしのべねばならぬ、自力更生すべく餘りに窮地に迫つてゐる、而も同縣は本溪縣や安東縣の桓仁、寛甸、長白、各縣に比し耕地も多く、かつては牧畜も相當盛んであつて、地下には相當多量の埋藏物を有するといはれ農、林、牧畜、鑛、各工業とも前途有望な條件を具備してゐるので同縣の復興開發は奉天省としても急務であり、滿洲國政府としても一日もゆるがせに出來ぬところである滿洲國は農業立國で斯業に從事するものが最も多く農民をもつて國の礎石とするならば先づ何よりも先に農民をして安居樂業さすの途を講じなければならない、その意味において政府當局が東邊道復興工作に一層の拍車をかけられんことを切望に堪へない、また鐵道沿線に在つて文化の恩惠の中に生活し王道樂土を謳ふものは今日の飢餓線上に彷徨する幾萬の東邊道農民團の存在することを思ひ政府當局或は民間團體において救濟運動の起さるゝ場合同情の念を垂れ能ふ限りの救助を惜まざることを祈願して筆を擱く（寫眞は貧民兒童に救助金を渡す竹内奉天省總務廳長）

◉兒童の愛護は―“榮養”を基調に!(A)

人體の構成と活力について心得置くべし

人間が此の世に呱々の聲をあげて以來、絶えず求めて止まぬものは食物である。

人生の三大要求としては衣食、住の三者即ち衣服、食物住家を數へ擧げて居るが、生命といふ重要なる屋の棟を支ふるこの三つの柱の中、最も大切なものは食物であるといふ事は誰しも否むことは出來ない。借り衣裳、借家は吾々の生命に何等の障碍も、不都合も來たさぬが、食物だけは他人に代つてもらふと云ふ事は絶對に出來ないのである。人生を焰に譬へてみるならば食といふことは、丁度油に相當するものであつて、之が絶えた時は人生忽ち消え去つてしまふのである。生命あつて初めて衣と住とを求めるのでつまり衣とは食に伴うて存する大黑柱であつて、食に關する問題は獨り個人の生命を左右するのみならず、人生の根本に横はる重要なる問題であり、國家、社會、民族の興亡を動かす原動力として實に忽になし得ない問題である。近年此の問題を取扱ふために榮養に關する學問が勃興し、科學的に食に就ての研究が進められるに至つた。又最近では次代の國家を守るべき兒童の健全なる發育を期するがために、兒童愛護は榮養を基調とすべしとの見地から、胎兒の榮養即ち姙娠時の榮養より始めて、乳兒、幼兒の榮養に漸く世人の關心が向けられる様になり、社會的な運動等も旺になつて來た。

世の臺所を預かる婦人、兒童の養育に當る母性が、榮養の意義を諒解し、眞劍に榮養問題を考ふることとなれば、兒童愛護の實は充分に擧げ得るに至るのである。本稿は右の趣旨により根本的榮養の概念を總論的に敍述したものである。

榮養の意義

吾々の身體は、無數の細胞といふ顯微鏡で漸く見える微小な物質から出來上つて居る。此の細胞は化學的にいへば、蛋白質、脂肪、含水炭素(糖質)、鹽類(鑛物質)と水とから成り立つて居るものであつて場所と時に應じて身體の各部で各々適當に變化し銘々特有の作用を營む樣に便宜な構造を呈して、日常生活に缺くべからざる必須の役目を統制ある分業的な働きで果して居る。之等身體を構成して居る物質は吾々の生活營爲の爲常に消耗されるので、その不足を補ふべく食物が攝取されねばならぬのである。又身體成分の新生、增殖(生長)のため及び生活力の根源を作るためにも外から物質を求めねばならぬ。此の色々な役目と仕事とを一身に集めて人體に供給されるのは食物である。

食物が口から胃へ、胃から腸へと次第に送られて行く間に、消化して體內に吸收され血の中に入つて身體各部に行き亘つて消耗された部分を補ひ、發育に役立ち、且つ生活力の根源となるのであつて、即ち此の過程を吾々は榮養と云ふのである。

身體の構成物質

細胞を拵へて居る蛋白質、脂肪、含水炭素及び鹽類であつて之らを榮養素といふ。「蛋白質」は細胞の主なる成分で、酸素、水素、炭素の三つの元素の外に窒素と硫黃とを含んで居るものであつて、骨とか、齒とか、筋肉とか、皮膚とか內臟諸臟器等を構成して居る。日常食膳に上る魚肉等は之である。「脂肪」は人體に於ても皮下脂肪等と稱して、皮膚の下、眼球の周圍又は筋肉と筋肉の間等に存して居り、酸、水炭の三元素から成つて居る。牛肉の上等なものに霜降りになつて居る白い部分が所謂脂肪である。

「含水炭素(糖質)」之も酸水、炭の三元素が集つて出來たもので吾人の體內ではグリコーゲンといふものになつて肝臟、神經或は筋肉の中に含まれて居る。

「鹽類(灰分)」ナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム、鐵、沃度、鹽、燐等を總稱して鹽類と云ひ、量は極く少く、主に血液又は淋巴液の中に溶けて居り、頗る微妙な作用を營んで居るものである。

其他に身體には體重の約七割近くの水が含まれて居る。この水が無ければ細胞は直ちに死滅する。而かも以上の諸成分は體內に於ける化學的變化を促進するために、膠狀を呈して存在して居る。

人間の活力

人間が生活するためには成人にあつては一日約二四〇〇カロリーといふ活力を必要とする。カロリーと云ふのは熱量の單位であつて榮養の方面では一立の水を溫度攝氏一度上昇せしめるに要する熱量なのである。之を力に見積ると大體二石の水桶を三尺三寸だけ持ち揚げる力に相當する。此の驚くべき一カロリーの二四〇〇倍の熱量がなければ一日の生活が保つて行けないのである。年齡、性別、職業、體質、體格其地環境等によつて必要熱量は一律ではないが力仕事や、運動をする人達には二四〇〇カロリー以上を必要として居る。此の活力は吾々の肉體の構成分即ち蛋白質、脂肪、含水炭素が血液中の酸素を取つて燃燒する時に發生するのである。此處で申す燃燒といふことは火を發するわけではないが酸素と結び付いて活力が發現するので斯く謂ふのである。

物質が燃えると後に灰が殘ると同樣に體內の燃燒に際しても滓即ち老廢物として炭酸瓦斯、水、尿、汗等が殘る。各榮養素の一瓦が燃えて發する熱量は夫々蛋白質四・一カロリー、脂肪九・三カロリー、含水炭素四・一カロリーである。之等の總熱量が不足するといふことは身體に故障を惹起する原因となる。(つゞく)

服裝美現はすには 個性と一致した快よい色調を

初夏の美容第一課

服裝美お化粧法、著つけの注意、その他凡般の公式には目をつぶつて、まづご自分の顏を鏡に對比させることですね そして自己をはつきり**認識し**た上で、自分にぴつたりした色柄、色彩そのもの同士の調和、それから季節と場所への調和に、美意識を向けてゆくことが根本的に大切なことです。自分の批判なしに、商店の宣傳や、お友達の模倣をやつてゐたんでは、色盲か色見本と笑はれます。例へば初夏に多の色を着たり頭のてつぺんから足のつま先まで薄みどりなのはまだしも、帽子が午後の帽子でスポーツ靴がイブニングだつたりし**着物が**たら、色彩の美は解消してしまいます。色彩ハ調和を考へよ、そしてその場所々々のものを選べといふのが、服裝美第一課の心得でせう。洋裝はスカートの長いのが流行となつてゐますが、これからはこの流行をストップさせて、スポーツのもの、ウールで出來たものは、踵からせいぜい七インチがスマートで潑剌と見えます。でないと、足を長く見せ樣うとする苦心が、あはれ胴を長く見せる結果になります。その不活動で暑つくるしい感じは**服裝美**をゼロにしてしまいます。

そこで結論し初夏はブルーかグリーン系統茶は流行してゐますが、あれは秋の色です。また白い服裝は、よほど注意せねばいけません。お化粧は、自分自身の化粧法を會得して個性を生かすことが肝心です。個性も晝は特徵をごくやはらかにし、夜の光線の下ではパつと強くそれから初夏には香水を忘れてはいけません。和服はしつこくなりやすい。品がなくなりやすい。この初夏の惡傾向に陷らぬことです。うす色のブルー、グリーンまたはうす紫はシーズン色ですが、とかく**うす色**は顏を黑くみせるもので、黑をかくすには白と、大抵白粉をこてこて塗るようですが、あれではあまりに人形的か娼婦的に見えていけませんからあまり白く塗らぬ方が、却つて自然美が出ます。だから茶色でない、またはオレンジがかつた化粧の方が無難で上品で健康的です。半襟はむやみに濃い色を用ひ、粋に見せようといふのは結構ですが、初夏だ、同時に**下品と**いつた感じを伴ひます。やはりうす色、やはらかな感じを出すのが肝心です。着付と帶の模樣かとてつもなくかけ離れた、例へば御所車の模樣に帶がバラ、菊、朝顏などいふのは不調和の代表です。それからおよそいやなのはストッキングをはいて、しかも、それが汚れたり、提灯見たいにたるんでゐる御婦人でそんなに素足を見せたくなかつたら、丹念に白粉をお塗り遊ばせ

平常着ではセルの肌ざはりが一ばん初夏の感觸にふさはしいものですが、セルは暑ぼつたく見せないことと胸元をゆたかに見せること、帶は下目にしめること、そして胸を張り潑剌と歩くべきです。

連載漫画 オデコノ頓チヤン

(1) モウイイカイ マアダヨ
(2) モウイイカイ ウン トンチヤンアソバウ
(3) アッワスレタ
(4) モウイイカイ

冗費節約に凱歌 一錢貯金が積つて五萬圓に

塵も積つて山となる―大阪府泉北郡では農村の經濟更生のため冗費節約に努めるかたはら大國貯金などを鳴り物入りで奬勵してゐるが、同郡踞尾村では旣に大正十四年二月頃から一日一錢貯金をはじめ「一錢を笑ふ者は一錢に泣く」の諺に先鞭をつけてをりその貰い一錢の結晶をこのほど同村產業組合で計算したところ今日までの貯金が約五萬圓の巨額となりこれを知つた隣村でも俄然一錢貯金の熱が彭湃として起り、子供の無駄費ひなど目立つて影をひそめるなど一錢貯金にたからかな凱歌があがつた

國都祭の歌

赤塚吉次郎作歌 園山民平作曲

一、薫るそよ風 木の芽が萠えて 杏咲く春 滿洲の春 さあさ健康女性の姿態 見せて讃へよ ほがらかに

二、都大路を 綠に染めて 若葉嬉しい 楡楊 さあさ新京女性の矜持 添へて歌はうよ たからかに

三、仰ぐ蒼空 うらゝに晴れて 國都彩る 春まつり さあさ日滿女性の親睦 籠めて踊らうよ なごやかに

けふの番組

(M・T・C・Y 新京放送局) 廿九日(土曜日)

(朝)

六、三〇 ラヂオ體操・入滿船のお知らせ(大連)
六、五〇 中等滿洲語講座(大連)
七、一五 朝の音樂 講師 秩父固太郎(大連)
七、四五 建國體操
八、〇〇 氣象通報(大連)
九、三〇 經濟市況(東京)
一〇、〇〇 家庭講座 海軍と婦人の日常生活 駐滿海軍部副官 海軍少佐 林孝善
一〇、二〇 料理獻立(大連)
一〇、三〇 家庭メモ
一〇、四〇 經濟市況(大連・新京)
一一、三五 經濟市況(大連)
一一、四〇 經濟市況(東京)
一一、五九 時報(東京)

(晝)

〇、〇五 晝の演藝(レコード)
〇、四〇 ニュース(東京・新京)
一、〇〇 經濟市況(大連・新京)
一、一〇 野球試合實況(東京)=明治神宮外苑野球場より中繼= 東京大學野球聯盟リーグ戰 ◎雨天順延 早稻田對法政 慶應對立敎
六大學野球終了に引續き野球試合實況=新京西公園野球場より中繼=新京野球聯盟春季リーグ戰
◎備考 六大學野球なき場合は後四、五〇より放送
三、〇〇 經濟市況(大連・新京)
●左の時刻には中斷す
三、四〇 經濟市況(東京)
四、〇〇 ニュース(東京・新京)
四、三〇 經濟市況(大連・新京)

(夜)

五、二〇 ニュース(鮮語) 演藝(鮮語)=野球ある場合は中止=
六、〇〇 子供の時間(東京) 近世日本の英傑 東鄕平八郎(一) 脚色並演出 東京放送童話研究會
六、二〇 コドモの新聞(大連)
六、二五 講演(東京) 歐洲外交關係表裏 法學博士 松田道一
七、〇〇 ニュース(東京)=野球ある場合は中止= ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
七、三〇 講演(福岡) 日本海々戰時代の軍艦と今日の軍艦 海軍造兵中將 工學博士 野中季雄
八、〇〇 連續ラヂオ小說 土(二) 春の夜明け 森赫子 外(東京)
八、三五 講談 大岡裁き指手錠 小金井蘆洲(東京)
九、〇〇 世界音樂地理「第四回」(東京) ラヂオトーキー(フランス) リラの咲く頃 深尾須磨子・作 池内友次郎編曲 藤山一郎 四家文子 外
九、三〇 時報・ニュース(東京)ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告(新京)
一〇、〇〇 義太夫(奉天) 義經千本櫻(道行初音の旅) 淨瑠璃 三吉 靜御前 彌 淨瑠璃 文 忠信 竹澤宗吉 三味線 竹澤仲之助 同 竹澤一双
一〇、三〇 北滿の時間(哈爾濱)

子供の時間【後六・〇〇】

近世日本の英傑 東鄕平八郎(一) 東京放送童話研究會 脚色並演出

沈默の提督東鄕元帥!吾等が英雄東鄕平八郎!日本の子供で東鄕元帥の名を知らぬものはありません。東鄕元帥の名は世界中に響き渡つてゐます。東鄕元帥は弘化四年十二月二十二日鹿兒島市加治屋町で力強い產聲をあげました。少年時代には、どつちかと云へばホッソリした優姿の少年で、頭腦のいゝ代りには怒りつぽくて、後に沈默の提督といはれるやうになつた東鄕元帥の俤はどこにも見出す事の出來ぬやうな子供でした。とても大人物にはなれさうにも思はれなかつたこの少年が、日本が永遠に世界に誇る大英雄になつたといふのは、その修養の力です。生れながらの英雄偉人と云ふものはない、その心掛け次第で誰でも立派な英雄、偉人になることが出來るといふよいお手本なのであります。今月はこの大偉人の修養の跡を皆樣と御一緒に辿つて見ることにいたしませう。

●連續ラヂオ小說● 長塚節原作の「土」第二篇・春の夜明【後八・〇〇】

―依田義賢氏脚色 乘松昭博氏作曲― 大矢市次郎氏その他によつて

唐獨黍の事件は地主のお內儀の口添へがあつて、勘次は獄屋につながれずにすんだ。さうして勘次の一家は苦しいままに、おつぎは十七の春を迎へて女になつた。その日であつた。與吉が子供仲間から母のないものは破けた着物より着られないんだといぢめられて泣いて歸つてきた。それを聞いたおつぎは泣いた。おつぎは針持つすべさへ知らなかつたのである。この苦しみを知つた勘次は苦しい懷から針立と針箱を買つておつぎにお針を習はせに通はせた。

そこでおつぎは女としてのいろんなたしなみを覺えて見違へる樣に美しくなつた。村の若い者が誘惑の手を向けやうとした。勘次は狂氣のやうになつておつぎを守つた。なぜそんなにまで勘次は物狂ほしくなつたのか。貧しい故に後妻をもつことの出來ぬ勘次の焦慮が、嫉妬ともなりお品をしのぶよすがとなつてゐるたゞ一つのものであるおつぎを奪はれようとする悲しみが爆發したのであつた。村の者は意地になつて、おつぎを誘惑しやうとする。勘次はいつも看視の眼をおこたらず、殆どおつぎに何處へでもつききつてそれをさまたげた。

そうして、勘次の生活にはいくぶんの餘裕が出來るやうになつて勘次の家にはほつかりと夜明の光がおとづれたやうな氣がした。

お品が死んで四度目の盆が來た。親子三人が夜、墓に訪れると先に墓へ詣つてゐた人がゐた。卯平であつた。卯平は持病のリユウマチが昂じて働けなくなつたから、家においてくれといつた。父である故に斷りきれない勘次は、その時聞える盆踊りの太鼓に、家をとび出して憤りのやりばを踊りにまぎらはせようとしたのだつた。

講談 大岡裁き「指手錠」【後八・三五】

小金井蘆洲

江戸日本橋本町二、醫者吉田榮順の後家のおしなは娘と二人で夫の遺產で餘生を送つてゐた。ある日のこと吳服屋の河內屋八兵衛に三百兩の用立を賴まれる。平素の心安さから證文もとらずに金を貸す。これがために河內屋の店は大變繁昌するが腹黑い八兵衛は證文がないのをよいこととして、返濟しないので病氣のおしなの娘は手當の不充分から死んでしまふ。おしなは氣も狂はんばかりになり、世帶を片づけてしまひ、托鉢をして家々の軒を廻り、喜捨を貰ひ生計をたてゝゐる。十年後多の夜更に娘の仇とばかりに八兵衛の家に放火をするが、見つけられて町奉行大岡越前守のお調べを受ける。おしなは昔の事情を話すので、越前守が調べると確に借りてはゐるが證文もないこととて、八兵衛が白狀しない。そこで大岡樣が八兵衛に失念いたしてゐるのであらうから思ひ出す呪ひを敎へてつかはすとばかりに、八兵衛の兩手の親指を合せて縛り、結び目に封印する。これが爲流石の八兵衛も恐れ入る。この時越前守は元利合せて五百兩年十兩で五十年間で拂へ、女一人で年十兩なら充分であらうが、罪は罪八兵衛が完濟したる節は重き處刑を申付ける。といはれるこの時おしなは四十七才、五十年經つと九十七になりますそしてその間には恩赦もあるわけです。法に情もある大岡裁き「指手錠」の一席。

講演【福岡より後七・三〇】

日本海々戰時代の軍艦と今日の軍艦 海軍造船中將 工學博士 野中季雄 (野中中將は九州帝大名譽敎授です)

×

十九世紀の中葉迄は木造帆船の軍艦であつたが、蒸汽機械が採用され、鐵材、鋼材が漸次木材に代り十九世紀の末頃には各方面の工業の進歩が著しく、從つて軍艦の進歩發達もめまぐるしく、戰闘艦、裝甲巡洋艦、巡洋艦、水雷艇、驅逐艦などが完成され、二十世紀の初頭日露戰爭時代の軍艦は、所謂當時の最新式艦船であつた。その概略を述べ、尙戰後は主機械が「タービンエンジン」となり、燃料は石炭が重油となり、速力は增大して往日の面目を一新し、其の他各方面に亘り、科學の進歩は各種の發明改良となり、此れが軍艦に應用され、歐洲戰爭時代を經て今日の進歩したる軍艦となつた。その大要について語らうと思ひます。

講演【後六・二五】

歐洲外交關係の表裏 法學博士 松田道一 松田博士は前特命全權大使です。

×

目下の歐羅巴に於ける國際關係は益々複雜となり、いろいろのデマが飛び、宣傳やら思惑やら、想像やらが、限りもなく交錯し混線して居る。從つてどの邊までが本當でどこらがウソかといふ樣なことに付ては、中々判斷が困難である。かの近頃急に唱へ出された「伯林羅馬樞軸」といふことは何を意味するのか、白耳義が中立したといふのは何のことであるか、西班牙の內亂は此先どうなるのか、倫敦に不干涉國際委員會が組織されてあるのに、伊太利から義勇兵が澤山出かけて居るとか、これが負けたと倫敦の新聞が書いたので、伊國政府は倫敦から新聞記者を引上げさしたとか、英國戴冠式を機會に外交の內輪話が盛に交換されたとか、獨逸は親英に傾いたとか、波蘭が中立を英佛に賴み込んだとか……此等のあることないことを千里眼的に透視することは六ヶ敷い業ではあるが、大體の筋道をたどつて行くと、其處に一道の光明を認めることが出來る。私はこれを極めて通俗的にお話して國民外交知識の一般涵養の一助ともなれば仕合せであると思ふのである。

學藝

文化の礎石　書物への反省

壽岳文章

內務省警保局の調査に據ると、昭和十一年度に納本された書物の部數は、三萬三百四十七種にも上つてゐる。毎年平均八十三種强となり、一種類の書物が千冊づゝ出版されたと假定すれば、毎日八萬三千冊强の割合で書物が誕生したことになる。毎日〃萬三千冊、しかもこれは日本だけの話だから驚かされる。もし全世界で毎日出版されてゆく書物を數へてみれば、定めし我々の想像も及ばぬほど多くの數にのぼるであらう。

「現在における眞の大學は、書物の蒐集にほかならない」と嘗て英國の文明批評家カーライルが云つたが、まことにその通りで、我々の文化は斷じて書物といふ大礎石の上に立てられてゐるのである。空中と地中とを問はず、また水上と水中とを問はず、自由自在に征服の觸手をのばして交通路を開拓した人間は、遂に眼に見えぬ電波をとらへ、地球の端と端とを一瞬のうちに繋ぐことにも成功した。今後の大發見や大發明に到つては無盡藏と言つてもよからう。だが人類が今までになしとげた發明や發見のうちで、その最大なものは「書物」であると言つてよい。なぜなら書物こそ發明や發見を產む母であると共に、それを後世に傳へる確實な記錄だからである。更に我我の生活の萬般に亘つて、書物がいかに重大な榮養素となつてきたか、又なつてゐるかは、事々しく述べ立てるまでもない。むかしペルシャの詩人によつて「木の下に一卷の詩書と、一壺の酒と、一片のパンと、荒野にてわがかたへに歌ふ汝だにあらば、あはれ、荒野もげにや樂土ならまし」とたたへられ、近くは本朝の歌人によつて「たのしみは珍しき書人にかり始め一ひらひろげたる時」と喜ばれた書物はかやうに人間の生活にとつてなくてならぬものである。しかし人間は甚だ身勝手に出來てゐて、なくてならぬものほど粗末にしたり疎かにしたりする傾向がある。日光や空氣や水は、人間の生活に必要缺くべからざるものでありながら、あまりありすぎるため、どうかすると吾々はその有難さを忘れてしまふ。つまり驚異の心を失ふ。書物もこれと同じことで、近頃のやうに無暗と書物が出版され安價に誰の手にもはひるやうになるとつい本來の意義や目的が見失はれやすい。この點書物の複製法が寫本によるのほか無かつた代りに、書物の尊さを身にしみて感じてゐた時代の人達に比して、我々は寧ろ不幸な時代に住んでゐるといふ逆說さへ成り立つであらう。

ともあれ我々は、絕えず「書物とは何か」といふ反省を行つて、書物に對する驚異と感謝を日に日に新にする必要がある。それは單に必要なだけではない。寧ろ書物に對する我々の義務であり責任である。

朝鮮文壇の傾向　沈滯と日本への依存

玄　民

「朝鮮文壇の傾向は？」と突差にきかれると一寸簡單には答へられない。朝鮮文壇の現狀は、今沈滯しきつてゐるのであるが、或ひは異議をはさむ人がゐるかも知れない「朝鮮現代小說全集」を始め、文學物の出版は、昨年以來未だかつて見られなかつた程の盛狀を呈してゐるではないかと。しかし「傾向」といふ言葉は、何か新しきものを探求し、創造せんとする方向を意味するのだとすると、朝鮮文壇は沈滯しきつてゐるとやはり云はざるを得ないのである。が、兎に角、朝鮮文壇の動きはその始めから日本文壇の動きに直接影響されて來たし、現在もまたそれに變りはない。それ以前は朝鮮語による文學は主として詩歌に限られてゐたーその開拓者たちは大抵日本留學歸りの人々であつた。現代の作家達も多かれ少なかれ日本的な教養を持つてゐない人は殆んどないといつてもいい。だから日本文壇に一つの運動が起ると、それが直ちに朝鮮に移され、それが退潮すると、こちらでも從つて勢を失くして行くといふことは少しも不思議なことではない。然しかくの如く朝鮮の現代文學が、日本文壇の動きによつて强く影響されて來たといふことは事實である。そしてかゝる關係はプロ文學の擡頭によつていよ〳〵强められた。單に强められただけではなく今度は、日本文壇そのものの動きが、直接に朝鮮文壇に影響を及ぼすやうになつたといふべきである。小林なり、島木なりを通じて、朝鮮の作家たちに影響を關心を持たれるやうになつたのである。その結果は、あらゆる社會的な關心を去勢した絕望や享樂の文學が横行することとなつたのである。だから「朝鮮文壇は沈滯してゐる」といつてもそれは必ずしも量的な衰微を意味するものではない。要するに朝鮮文壇の現狀は、現在の日本文壇から、次々と現はれて來るいろ〳〵な「イズム」を取り去つた場合を想像してみたら、だいたい似たやうなものではなからうかと思ふ。

讀書の再吟味

金井　清

何のために本を讀むかと問はれたら、私は私達が空氣を吸ひ日に三度の御飯を攝るのと同じだと說明するだらう。讀書といふものは現代人にとつては生理が要求する空氣、食物と肩を並べるほど私達の生活の要素をなしてゐるのである。現代に限らず久しい過去に遡つても人文史上に名ある人々の精神の糧であつたのは書物であつた。書物以上に人類にとつて良友であり、良師であり、慰安を與へる妻であるより良き奬勵鼓舞者であるものは少いであらう。寂しい夜人の子の涙を拭ひ、人戀しい朝胸を暖め、心暗く氣餓ゑたとき獅子奮迅の勇氣を與へ、有頂天の時に謙虛の心を喚び起す、悉く讀書の恩寵である。

私達はこの恩惠のふところにどのやうな態度で飛び込むべきか。讀書はしかつめらしいことでも角張つたことでもない、ただ現代人の唯一の伴侶であり無二のパラダイスであらねばならぬ。

私は過日久しく遠ざかつてゐた圖書館を訪れたところ、その風景は實に私の襟を正さしめるものがあつた。もつとも、その大部分が生活のための讀書であるやうに思はれた。それは人間鬪爭の斷面であり生存競爭の縮圖であるやうに見えた。

讀書の淸興は書中に知識を見出すよりも、おのれ自身の姿を發見することにあらう。自分の心、情、全靈を書中に放射し、本と自己とが渾然一體になる境地である。

滿洲の受胎（1）

工　清定

天の卷

「若！大變でございますぞ。びつくりなさいますな……お、大殿が……あゝ……」

葉といふ葉が逸早く霜の呵責を受けて、いちじるしい衰へを見せた丘陵の大きい楡の樹蔭で、さきほどから次々と傳へられて來る味方の戰況がすこしも有利に展開しないのに氣をもんだり、豫備隊に殘されたことに業をにやしたりしてゐた努爾哈赤も、どうやら（何だか蟲のすかない戰だが、何も今日一日に限つたといふわけではないし、それにこの俺にしたつて漸く廿五才だ、まだまだ若いんだからな）と、やつと落ちつきの場所を見つけたやうに、其楡のしげみを透して見るともなしに空を仰いだ。ー輝かしい光を含んだ桔梗色の大空に、いくすぢかの白雲が東へ悠々と流れて行く。東！煙筒山麓。東！蘇子河畔。ふるさと！赫圖阿拉。（おゝ宋香華！）若い努爾哈赤は、秋の感傷からその赫圖阿拉に、自分の勇ましい凱旋姿を待ちかねてゐる宋香華の、この秋空のやうに清々しい眼を聯想して、にんまりしかけた矢先、こんな風に慌しい聲が自分を呼びかけたのを聞かねばならなかつた。そして、そのために心の平靜が突然やぶられてしまつて、瞬間、ひどく面喰つて不機嫌にふり向いた。

ーーそこには、たゞでさへ出ばつてゐる顴骨を、ひどく硬化させた傅役の宋丕顯の顏があつた。

「何だ？」一聲。おちついて言つて見ろ、宋」（祖父の負傷かな。いくら年老いてゐるとは言へ、捕へられるなどゝいふぶざまは、あの頑固さにある祖父には、萬々考へられないことだ）ーさう思つてきゝかへした努爾哈赤はさすがに微笑を添へることを忘れてはゐなかつた。

「は、はい……美事なお最期でございました。あゝ、あの御老體で……」

宋は顏を兩手で蔽つて泣き伏した。

努爾哈赤は棒のやうに突立つたまゝ祖父覺昌安と同年輩で、しかも竹馬の友だといふ宋のさうした姿を、うつろな眼で見下す外はなかつた。

丘陵の中腹で休憩中、廣漑を果皮ごとかじりながら雜談に余念のなかつた努爾哈赤の手兵の部將に、無言のどよめきが、見る見るつたはつて、みんなが丘陵の上に登つて來た。その自然につくられた人垣の一部分は

「わか、若殿……」

と、またも、遠くから呼びかけて來た。第二の傳令によつて開かれた。

第二の傳令は、黃い房をつけた鉞を右手でさし上げてゐる。

黃鉞！

父、搭克世愛用の黃鉞だ！

努爾哈赤は瞬間、まつ黑い鳥の羽ばたきを眼前に見ると同時に、腹の底から熱湯が沸騰して來るのを、まざまざと感じた。はるかに見える古勤城の高塔がゆらぐほどの砂塵だ！鬨だ！馬のいなゝきだ！

父の搭克世までが、もろくも怨敵尼堪外蘭の詭計に陷つて、その愛用の黃鉞が漸く持つて歸られたゞけで、屍體は勝誇つた敵の馬蹄の蹂躙に委せる外はないところで討死してしまつたといふのだ。

努爾哈赤は、腰かけてゐた椅子を、いまゝでの雜念妄想と共に兩足でふみくだいて、すつくと起ち上つた。

建州女眞の酋長阿臺は、遼東の猛虎とまでおそれられてゐたがその晚年、遂に明の政府に謀殺されてしまつた父の果から、古勤城は承けついだが、勢威は最早それに伴つてはゐなかつた。

さうした建州女眞衛には、晚秋のひるさがりにも似たわびしさ、賴りなさが多分に見られるやうになつたことは事實だつた。

その中に、先代の信任に報るはこの苦艱の時にこそとばかり、若い酋長阿臺を擁したのが、律義一點張りの祖父覺昌安であり、父搭克世だつた。ーー優柔不斷で凡庸な青年酋長を仰いで、銳意經營する二人の苦衷が容易にあらはれないのに乘じて、同じ建州女眞衛でありながら、豫てから果と快くなかつた尼堪外蘭が、明の總兵として鐵嶺に駐屯してゐた李成梁と合流して突如古勤城に阿臺を襲つて來た。

危急を聞いてはせ參じた祖父や父に、かうして古勤間近まで隨いて來ながら、必死に一方をきり開いて城內へ入つたそのあとを追ふことを許されなかつた努爾哈赤は、その戰死の報を耳にするまで、刀を拔く必要もないこの丘陵の上に空しく待機せざるを得なかつたわけである。（つゞく）

學藝消息

△大平孝氏「改造」六月號に「滿洲帝國協和會に就て」を執筆

△青木實氏「滿洲評論」五月二十二日號「滿洲文學の諸問題」を執筆

△萬葉集研究會　在新京の有志諸氏によつて組織さるべく目下準備が進められてゐる

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△海（五月號）中河與一「牛島風景」平井好一「生絲のロマンス」今道潤三「國防と海運」その他を載せてゐる（大阪市北區宗是町一ノ一、大阪商船株式會社、二十錢）

低俗への妥協

ー武田麟太郎の一作ー

低俗への妥協といふことが餘りにも醜くなされてゐる一例ーそれを武田麟太郎の「蝶櫻」なる一作に見出した。揭載雜誌は「日の出」六月號。

これは一篇の花柳情話であるのだが、長田幹彥ほどのねばりもなく、感銘甚だ薄いのである。市井ものを描いて大いに英才を發揮してゐる筈の武田としては、これは近頃餘程無氣力な制作振りを示したもので、好漢のために惜しまざるを得ん。どうもこんな作では、挿繪までがぼやけてしまつてゐる。「日の出」編輯後記の力み振りもあてにならん。（細井肇二）

除悦性中毒慢
モルヒネ ヘロイン
モルタイン
痛鎮 咳鎮 鎮靜劑
麻藥に非ず
卓越せる鎮痛・鎮靜作用！
有力なる新藥二種より成る本劑は作用極めて理想的にして何等の副作用なく强力なる鎭靜痛鎭咳の效を奏す
モルタイン
製造元 植村製藥所
總代理店 藤澤友吉商店支店
大連市山縣通七 奉天 天津

MERCURY
CIGARETTES
20 CIGARETTES
CHI FUNG TOBACCO CO. LTD.
マーキュリー
十本入 五錢
二十本入 十錢

JM-17

嗜みのNO1 福助のお足許
福助足袋
優良綿織品
家庭足袋
萬歲足袋

日滿空の超特急
きのふ美事な試飛
時速三百八十キロの快翔
輝く國產機の凱歌

日滿両國都を一日で結ぶ晴れの使命を荷ふ空の超特急中島式AT型十二人乗旅客機の東京新京間試驗飛行は六月一日からの定期航空を前に二十八日午後六時十五分純國產の誇りを巨大な銀翼に輝かせ滿航都築新京管區長、日航運航課新京出張員江口靖氏滿洲國郵政管理局長　木下新京中央郵便局長、關東遞信局鈴江技師各通信社員等多數の出迎へをうけて美事に着陸した全體白銀に輝く巨鷲の如きAT機はぐつと両方に張た逞しい翼の長さ十米、機體の長さ一九米餘、高さ五米五十糎双翼の根本には中島式空冷五百馬力のエンジンを一つ宛抱へ込み機首から尾翼にかけた一直線のアンテナは同機の誇る短波無電を示してゐる同機の自重は三千四百五十瓩乗客八人と乗務員四名に貨物二百瓩滿載の目方が實に五千瓩これで時速三百八十キロのスピードが出るといふ怪物である胴にくつきりと描かれたJ—MBOYの記號の下には昭和十二年四月十七日完成と認めてある、大體これが機體の概容であるが更に座席に至つてはその設備は滿鐵が誇るあじあの一等車に遜色なく豪華を盡してゐるのにいづれも驚嘆の眼をみはらせる

〃神風〃かくやとばかり
全く驚異的性能
強風を衝いて—豊島機長語る

晴れのハンドルを執つた機長福岡支所の豊島操縦士、京城支所桑島操縦士、福岡支所宮本航空士、遠藤機關士、福岡支所稲見無電技師の六氏は飛行服もおそうさな脊廣姿に日燒けした顔をほころばせながら機上から降り立ち都築管區長らと握手を交したのち一同を代表して豊島機長は左の如く語つた

東京から福岡までは薄曇りの飛行日和でしたが福岡から京城までは内地の時化の餘波をうけて相當強い向ひ風でした、ことに朝鮮海峽は正面から風速廿二米の強風をうけましたが純國產の機體は些の故障もなく時速二百八十キロを出してゐました、まつたく神風襲喰へですよ、京城から奉天までは鴨綠江の南に不連續線があつて一寸ゆれましたが奉天から新京まではまつたく疊の上を行くやうなものでした、さあ平均時速は三百キロ位出てゐたでしやう、この試驗飛行の結果から見ますと東京新京間は豫定時間よりうんと短縮出來ると思ひます、今日は豫定より少し遲れましたがそれは飛行場で郵便積込み其他の關係で航空時間は少しも遲れてゐません、機體は絶對安全ですし操縦士も私の先輩でそうそうたるものばかりですからどうぞ御安心下さい

なほ同機は二十九日午前七時二十分京飛行場を離陸歸還飛行の途につく筈である（寫眞は新京飛行場に着陸した空の超特急）

梨本宮様に蕨のお土產
皇帝陛下の優渥な御心遣

淨月潭水源池を御巡狩あそばされた皇帝陛下には、龍ケ崎醍舍にて宮内府秘書官加藤内藏助氏を召され　御來京中の梨本宮殿下の御旅情を御慰め申すため蕨をとつてこいと仰せられ、御言葉に恐懼した加藤秘書官は直ちに附近の山々から蕨を採取、御前に供したところ　皇帝陛下にはいたく御滿足の御様子で、御手づから梨本宮殿下に御土產として御持ち歸りあそばされたこの皇帝陛下の優渥な御心遣ひには側近の者一同いたく感激してゐる

〃立退料を貰つても損　今更動けません〃
梅ヶ枝町危險家屋で店子頑張る

曩に新京署では二十餘軒の危險家屋に對し改築を命じたが大和通六五番地郝永德管理人丸山廣衛氏も改築命令を受けた一人で梅ケ枝町四丁目十四番地一帶居住者に對しこの程立退き方を要求したところ丁尚東、崔敬天、金乘權、（以上半島人）及び李門珠（滿洲國人）の四名は相當の權利金を拂つて入つたものだからこのままでは出られないと立退料を要求し既に工事が始つてゐるのにすつたもんだで仲々出て行かないので丸山氏は前記四名に説諭してくれと屆出て來た、新京署保安では二十八日午後四名を呼び出し事情を聽取したところ、崔の如きは入るときに七百圓ばかりの權利金を拂つてゐるので今更百四、五十圓の立退料を貰つても問に合はぬとばかり頑張り外三名も全部で三百圓貰つても仕様がないと口を揃へて陳情するので結局話がまとまらず三十一日再び新京署に出頭することとなつた、二十余軒の危險家屋の改築に際し家主と店子の間では同様の問題が起るべくトラブルが豫想されてゐる

平壤佛教會慰靈團來京

平壤佛教會滿洲戰跡弔問慰靈團一行七名は二十八日午後四時三十分着列車で來京滿洲旅館に一泊、二十九忠靈塔參拜市中見學して午後六時半發あじあでハルビンに出發の豫定である

幸四郎一座の開演は
西廣場倶樂部
早くも湧立つ人氣旺盛

東京歌舞伎大幹部松本幸四郎丈が名題俳優百余名を引連れ新京で開演は六月中旬と決定高麗家來るの快報は舊劇愛好家其噂で持ち切りの有様、早速に高麗家後援會なるものがうまれ三百名の豫約申込みがあると思ふと大連に出張所をもつ某大製菓會社が奥地に於ける特約販賣店優待觀劇のため新京開演に五十名の豫約を飛行便で申込んで來るなど空前の前人氣が湧きつゝある一方、主催者側では開演場所に就てあれやこれやと詮衡中であつたが愈滿鐵西廣場社員倶樂部と交渉纏り倶樂部當事者も非常な意氣込みで、この開演に萬遺憾なき設備を整へることゝなり舊劇に是非とも無くてはならぬ花道などは後々の催し物にも使へるやう本格的な組立花道に數百圓を投ずる外、大道具小松屋は大道具一切を受け取り製作に着手したがこの費用だけでも五千余圓に上る豪華なものである、西廣場倶樂部ならば觀覽席の椅子も番號つきで千二百脚、豫備椅子もあり、座席を離れても戻れぬといふやうな心配の無い設備があるから樂々觀劇できるとよろこばれてゐる（寫眞は松本幸四郎丈）

正派絲友會主催の
箏曲大演奏會
けふ午後五時半、公會堂で

正派絲友會主催箏曲大演奏會は二十九日午後五時半から公會堂で開催される、同會は河崎雅榮師、尺八側は各師匠の應援あり新京市民音樂會員の伴奏ならびに青い鳥舞踊團の舞踊も加へられてゐる▲曲目及び出演者は左の通り

一「草苗」林田信子、籠谷美保子、尺八山本繞山、二「千鳥の曲」片桐智子、三澤貞子、佐藤香子、上田ふさ子、小池嘉美子、佐々木雅治、三絃河崎雅榮、尺八名和啓童、四「たそがれ」上田ふさ子、和田央子、鈴木勝子、三澤貞子、廣瀬嘉子、坂本富美子、上田一野、尺八片岡幻山、五「櫻變奏曲」一部峯下啓子、河崎春子、二部林田信子、籠谷美保子、片桐智子、廣瀬嘉子、小野和子十七絃河崎雅榮六「瀬音」森下瀾生、中村貴酩子、洋樂新京市民絃樂團、七「若草」井上信子、川上田鶴子、相羽淑子小松みよ子、近藤光子、尺八渡上崩山、笹井眷山、八「末の契」廣瀬博子、小松ます子、清水多美子、三絃清水優子、河崎雅榮、尺八井上起童、九「稚兒櫻」佐藤香子、和田央子廣瀬嘉子、河崎春子、山本繞山、尺八田中綜山、一十「茶音頭」三上いく子、峯下啓子、岩崎たけ子、川上田鶴子、三絃清水優子、河崎雅榮、尺八山本繞山、十一「春の惠」清水多美子、廣瀬博子、中村貴美子、正派直門、石瀬雅之、尺八片岡幻山、十二「住吉詣」西川朝子、和田英子、林田まつゑ、三絃河崎雅榮、尺八西田方山、十三「希望の光」一部峯下啓子、近藤光子、小松みよ子、三上いく子、岩崎たけ子小松ます子、小池喜笑子、尺八一部山本繞山、笹井眷山、渡上崩山二部河崎久子、清水多美子、廣瀬博子、四戸富子、和田英子、西川朝子、二部片岡幻山、田中綜山、田上穗山十四「玉の臺」三上雅穗、佐々木雅治、三絃林田まつゑ河崎雅榮、尺八名和啓童十五「こでまりの花」鈴木勝子、坂本富美子、上田一野、廣瀬嘉子、河崎春子、舞踊青い鳥舞踊團、尺八笹井眷山、十六「玉川」四戸富貴子、河崎久子三絃河崎雅榮、尺八井上起童十七「初夏の印象」小池嘉美子、四戸富美子、三上雅穗、佐々木雅治、洋樂新京市民絃樂團、尺八都山流春風社樂團

遺書を殘して
青年服毒自殺

二十八日午後零時四十分頃新京日出町二丁目六番地協和旅館の女中がお客さんを起しに行つたところ二十五日以來投宿してゐた青年が覺悟の服毒自殺を遂げてゐるのを發見驚いて新京署に屆け出て來た、前記青年は京都府船井郡世木村字生畑湯淺明榮（二一）で側らには赤革トランク一個と風呂敷包が置かれて居り次の様な二通の遺書があつた（何れも原文のまゝ）

遺言の事、死體は本籍の墓地に埋めて下さい、お願ひします、鞄は同じく本籍地の方へ屆けて下さい

昭和十二年五月二十七日、旅館の主人に宛て

本人の更に一通の遺書には御當家には色々御迷惑をかけて濟みませんが不幸な同國人だと思つてお許し下さいとあり、多分滿洲にあこがれて家出はしてみたものの思ふ様に就職も出來ず悲觀して自殺したものとみられてゐる、所持金は十圓八錢あつたが何處から來たのか全く不明で所持品より判斷して店員をしてゐたのではないかと推定されてゐる、衛生隊では一應死體をひきとり、假埋葬に附し原籍地に打電した

湯原縣匪襲犠牲者の
合同慰靈祭執行
涙新たにきのふ公會堂で

去る十八日夜半匪賊の急襲に遭ひ、壯烈なる殉職を遂げた湯原縣參事官宮地憲式氏ほか九氏の合同慰靈祭は二十八日午後三時から新京記念公會堂に於て大津民政部總務司長が祭典委員長となり東條關東軍參謀長、張國務總理、田邊滿洲國參議、韓財政部大臣、呂實業部大臣、孫民政部大臣、于協和會中央本部長、星野總務廳長、田中中銀總裁、宮田興銀總裁、各部大臣代理、日滿國防婦人團はじめ官民約八百名參列佛式によりいとも嚴肅に執行された、正面祭壇には殉職者十氏の遺骨及び寫眞を中心に各方面から送られた供物花輪の類が會場を埋め定刻一般遺族、僧侶着席、導師の燒香に次いで孫民政部大臣、大津總務司長、大島警務司長、張國務總理、星野總務廳長、軍政部大臣代理、交通部大臣代理于協和會中央本部長、縣參事官代表、大阪府警察官代表、友人代表の弔辭朗讀、弔電披露あつて大津委員長挨拶を述べ、しめやかな讀經裡に遺族並びに各機關代表の燒香があつたが參列者一同當時の壯烈なる殉職狀況を追懐して涙新たなるものがあり同四時四十分莊嚴裡に終了した

遺族に護られて遺骨到着

濱江省湯原縣殉職者故宮地參事官以下七名の遺骨は二十八日午後二時着あじあで宮地ヨシ子未亡人、石井カツヨ未亡人、その他實兄弟近親者の遺族に護られて、津末民政部人事科長始め日滿軍官民多數の出迎へ裡に新京へ到着、直ちに記念公會堂の告別式場に安置された（寫眞は式場）

滿鐵敷島寮に
猩紅熱發生す
一時に廿餘名の患者

滿鐵敷島寮より猩紅熱發生廿餘名の大量患者を發生し新京市民に大恐慌を與へてゐる▲廿四、五と相前後して滿鐵醫院に入院中の滿鐵社員田邊、川橋両氏が廿七日朝に至り同醫院東辻醫師に猩紅熱と確診され十一時傳染病棟に隔離されたが午後三時に至り網野氏外九名が又もや猩紅熱と確診され隔離、午後三時に至り加療中の僞似患者十二名も同様隔離され尚續々傳染の模様があるので新京署では早速附近の交通止めを行ひ大消毒を行つた

容疑收容者氏名

二十七日敷島寮で發病した猩紅熱患者及び容疑者は四回に亘つて共立醫院に收容したが收容者氏名及び勤務箇所は左の通りである

▽第一回收容者（二名）川橋弘（二二）消費組合、田邊末雄（二八）保安區
▽第二回收容者（十名）久木田辿磨（驛電信）中場德義（驛庶務）韓全校（北寮ボーイ）詩忠（驛電信）網野摩之助（驛助役室）濱邊久夫（事務局會計）奧田勇（滿炭）西軍一郎（外交部文書科）内村清熊（驛貨物發送）木下嘉雄（驛運轉所）
▽第三回收容者（十二名）辻正明（二六）檢車區、吉柳克己（二一）驛庶務、田中敏雄（二二）三原茂尚（一七）檢車區吉田今朝之助（一九）驛貨物發送、大柳貫一（二一）驛運轉所、阿部正三（二四）驛貨物、山田庸（二四）驛電信、藤井茂（二二）驛運轉所、南正人（一七）青年學校、三浦貞、驛運轉所
▽第四回收容者（三名）松井盛德（二四）赤坂止（一九）渡邊綾子（女學校賣店）以上合計二十七名

驛は大消毒
驛長令息も發病

なほ二十八日は新京驛貨物係員山口秀雄君（二五）及び新京醫院第三病棟附添婦山下サト子さん（二六）の新患者二名が發生收容された

從事員中から十三名の患者が發生した新京驛では本屋、各ホーム、構内事務所、貨物事務所の大消毒を行ひ八百の驛員は硼酸水で含嗽を行ひ善後處置をとつてゐるなほ稲川驛長自宅では令息西廣場小學校三年利彦君（一〇）が二十五日から發病、二十七日確診したので驛長は數日大事をとつて自宅で様子を伺つてゐる

滿鐵衛生隊
豫防に大童

國都の衛生總元締めを勤めてゐる、滿鐵衛生隊では二十七日以來多田監督の督勵で晝夜兼行患者收容、寮及び驛、檢車區、各小學校等の患者勤務箇所の大消毒に大童となり、二十九日は嗽用の硼酸五百グラム袋二百個を各藥店から買占めして各箇所に配布して應急豫防法をとり、なほ係員は待機中である

敷島高女にも
一名發病

敷島高等女學校では三年三組渡邊綾子さんが二十七日猩紅熱と確診したので衛生隊と連絡をとり、取敢ず同組の教室は地歴室に移轉し大消毒を行つた上、なほ全校生徒にはウガヒをなさせて蔓延を防いでゐる

外語同窓會總會

東京外國語學校新京同窓會春季總會は二十九日午後六時から料亭千鳥で開催される同校出身者は奮つて參加されたいと

小谷新京驛事務主任の髭は青年社員を惱ます程にエロチツクなので、且つてこの欄の話題となつたので有名であつた▼それがきのふこつ然として剃り落されて再び驛員の話題となつてゐるが、なんでも奥さまの好みで涙を振つて落したとかや▼商業の原島教頭に街頭で出會した友人〃おい君鼻の下えらい汚れてゐるぞ〃と冷かされて〃何これを見て呉れ〃と顔をすり合せて始めて立て始めの髭と判つた、それ位にまだ薄いがあと一週間もしたら見事なものになるだらうと

戀愛 髑髏組（映畫化上演）

林杢兵衛
金子士郎 畫

（百五）

誘ひの罠（五）

「だから、此の方にお願ひ申した譯だ」

鐵十郎は、總ての計畫——とでも云ひたげな顔をして刑部を見返つた。

「で……拙者の仕事と云ふのは？」

もどかしさうに口を挾む刑部。

「左樣、我等が仕事を濟まして、無事に引上げるまで、横町の御役で見張つて頂きたいのだ」

「それだけのこと……」

「左樣、それだけで澤山、しかも奉行所は今云ふ通り、茂十の手であるから、なか／＼警戒を極め居る筈。だから、決して油斷はなりませぬぞ」

「若し、不幸にして發見されたその時は？」

「そのためにお願ひした貴公の役目、彼等を相手に充分腕を揮つて頂きたい」

「即ち、爾一同を逃すために……」

「さうして貴公も無事に逃げて歸つて頂かねばならぬ」

「逃げる方法は？　まさか無暗に此の家へ逃げ込む譯には參りますまい」

「左樣、八荒洲河岸に舟の用意が致しあれば、それへ默つて飛び込めば、船頭はこれなる二人……」

勘太と小六を流し目に見た鐵十郎。

「どうだ兩人、我等の船には水など這入らぬぞ、新造の立派なものだ」

「それなら安心。船頭なら本職で御座んすよ」

腕を叩いて小六が勇んだ。

其の夜の亥の刻頃まで、一同は酒に依つて闘氣に騷ぎ、やがて一人去り二人退き。殘つたのは、勘太と小六と、松造と云ふ年寄りの男と、それから刑部と鐵十郎だ。

「松造！」

「へえ」

「貴樣は一足先に、此の二人を伴つて、舩の用意をしておいて呉れ」

「へい、よろしう御座います」——松造は直ぐ立ち上つて、勘太と小六を促した。

部屋には、もう刑部と鐵十郎の二人だけ。

「貴公は拙者と共に出掛けて頂きたい」

刑部を確かめるための鐵十郎の言葉だ。

「承知致した。支度が出來れば何時からなりと……」

今は是非もない刑部だ。

（助けられた——と云ふ、恩義さへなくば、その場を去らず一刀兩斷、息の根を止めて呉れる惡徳不義の人非人だが、藝懲邪正は別として、一命を救はれた恩義は恩義として受けねばならない。その恩義を斬り破る剣は持てぬ自身の氣性で是非もない。如何に運命とは云へあまりにも冷酷だ。自身は一體何んの爲めに此の世へ生の惠みを受けたのか、こうなつて見ると、噓ツ張り生存の意義が解らない。故郷大和の郡山を出る時、少くとも破邪顯正を、胸底深くに秘めて出た筈の自身ではなかつたか。斷じて邪道には踏み入らず——と天地神明に誓つた筈の自身ではなかつたか。それが解らぬ一婦人へ寄せた同情が、遂に宮本の代官を手に掛ける。續いて弓削の郷士井筒彌左衛門を一刀兩斷。しかしながら考へて見れば、あれ等は正道ではない。何處までも破邪顯正の大道に背反したる行爲ではなかつた。それであるのに江戸へ來て、如何に未知であつたとは云へ、女賊黒猫お蝶と同棲をする。そうして拐帶脇坂家に嫁を求めながら、女盜お蝶故にそれも嫌に振る。のみならず、無世間ぐことの出來ない穢れ者の汚れた惡名を着せられた。そうして鐵コロ騷擾屋に通した月餘の日時。その間いかばかり良心の苛責にあつたことやら——）